

平成28年度 文化庁

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム(A)

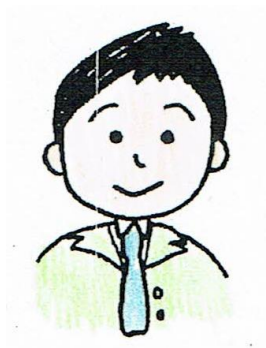
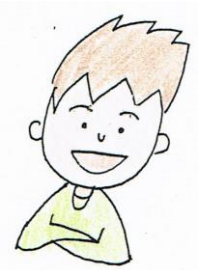
定住する外国につながる若者への日本語教育支援事業



あなたならどうする？

困った時に役に立つ！

—コミュニケーションスキルアップ教材—



NPO 法人多文化教育ネットワークかながわ

著：CEMLA スタッフ

(池田三奈・妹背真理子・蔡金燕・佐屋利子・曾凌云・高橋清樹・武一美・中原岩夫・藤井美香)

はじめに

多文化学習センターCEMLA は、外国につながる若者を対象とした日本語学習教室です。毎週土曜日、外国につながる中学生・高校生がそれぞれの日本語レベルに応じた学習をしており、大学生ボランティアがその学習をサポートしています。

ある日ひとりの生徒が「先生、差別された。もうあの人と話したくない」と言いにきました。よく話を聞いてみると、相手は差別するつもりはありませんでした。けれどその生徒は差別されたと感じ、関係を「シャットダウン」しようとしていました。

外国につながる若者が自立し社会参加するために必要なのは、日本語のスキルだけではありません。文化や価値観の違う相手とどう人間関係を築いていくか、言語能力とはまた別のコミュニケーション能力が求められます。コミュニケーションがうまくいかない時、関係を「シャットダウン」してしまったり、ひとりで抱え込んでしまったりするのはなく、一歩前に踏み出す勇気を持ってほしい—そんな思いからこの教材を作成しました。

第Ⅰ部に収められている16のケースはすべて、CEMLA スタッフが生徒にヒアリングして出てきた実話に基づいています。各ケースに設問があり、登場人物それぞれの気持ちを考え、自分がその立場だったらどうするかを考えるようになっています。この問題に「正解」はありません。「日本はこうだ」と一方的に決めつけるのではなく、「どうしてそう思うのか」「どうしてそうするのか」と学習者の考えを引き出し、ともに考えてください。4ページからの「各ケースの意図と使い方」を参考にいただき、目の前の学習者に合うケース教材を選んでいただければ幸いです。

第Ⅱ部では、入門・初級・中級・中上級クラスで行っている日本語指導の一部を実践報告という形でご紹介しています。とくに中上級クラスでは、社会を意識しその一員として参加するために、新聞を「読解教材」または「意見文作成のための教材」として使用する試みを行っています。

外国につながる若者が自分を大切に、そして相手を大切に、日本社会の中で孤立することなく生き生きと生活できるよう、本教材がその一助となることを願っています。

目次

第Ⅰ部 ケース教材

各ケースの意図・使い方のアドバイス p 4

<学校編>

- ①学校を休むとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
 - ちょっと休憩 なぞなぞ・・・・・・・・・・・・・・・・ p 12
- ②正直に答えたのに・・・・・・・・・・・・・・・・ p 13
- ③なんでいけないの？・・・・・・・・ p 15
- ④どうして自分だけ？・・・・・・・・ p 17
- ⑤太い方がいい！はダメ・・・？・・・・・・・・ p 19

<アルバイト編>

- ⑥アルバイトしたいけど・・・・・・・・ p 21
- ⑦お客さんに聞かれたから・・・・・・・・ p 23
- ⑧なんで怒られるの？・・・・・・・・ p 25
- ⑨通訳できるといったら・・・・・・・・ p 27
- ⑩急に国に帰ることになって・・・・・・・・ p 29

<大学編>

- ⑪文化や習慣の違いから・・・・・・・・ p 31
- ⑫一斉メールに返信しなくちゃダメ？・・・・・・・・ p 33
 - なぞなぞのこたえ・・・・・・・・ p 36

<会社編>

- ⑬何回も聞いたら悪いから・・・・・・・・ p 37
- ⑭どうやって断ったら・・・・・・・・ p 39
- ⑮作業マニュアルが分からなくて・・・・・・・・ p 41
- ⑯いわれてないから・・・・・・・・ p 43

第Ⅱ部 実践報告

- 入門・初級クラス・・・・・・・・ p 46
- 中級クラス・・・・・・・・ p 54
- 中上級クラス・・・・・・・・ p 58

第Ⅰ部

ケース教材

各ケースの意図・使い方のアドバイス

ケース①：学校を休むとき・・・

欠席連絡という学校生活のルールを考える教材です。学校を休むとき、先生に連絡することが約束になっていると思います。そのときに、誰が連絡をするのか、もう一日休むときはどうするか、などいろいろなことを考えることが必要です。ここでは、学校を休むときに心がけるといいこと、そして先生側になって連絡が来ないときどんな気持ちなのか、を考えるきっかけになってほしいと思い作りました。

このケースを使う場合は、支援者と学習者が2人以上で取り組むことを勧めます。学校、生徒、お母さんの会話文になっているのでそれぞれに分かれ、どんな場面なのか確認しながら読んでください。学習者と一緒になって考えさまざまな答えを出してください。答えは一つではありません。このケースを利用して相手の立場になって考えてみる機会にしてほしいと思います。

ケース②：正直に答えたのに・・・

学校生活で生徒と教員のコミュニケーショントラブルを考える教材です。

「どうして遅刻したの？」と遅刻の理由を担当の先生に聞かれて、Aくんは先生の質問に正直に答えたのに怒られました。Aくんは、どうして先生が怒ったのか、自分の返事はどこがよくないの分かりませんでした。そして、先生に「帰れ」と言われて言葉通りに帰ってしまいました。

このケースは簡単な日本語会話ですが、Aくんには日本の社会言語能力がまだ足りないことによって言葉の語用的意味が理解できなかったと思われます。日本という異文化の中で生活、学習する生徒にとって日本語の文法力だけではなく日本の社会文化能力や社会言語能力も意識的に伸ばすことが必要だと思われます。生活の中でトラブルが起きたときに自分の力で対応できると思います。

生徒の母国ではどんな文化、どんな社会言語背景なのかを話し合い、先生がどうして怒ったのか想像し、相手の立場や気持ちから考えてみるように導きます。正解を押し付けるのではなく、このような場面ではどのような対応の仕方がよいのかを生徒と一緒に考えてみてください。

ケース③：なんでいけないの？

約束事に関するコミュニケーショントラブルを考える教材です。

Aさんは学校の先生と約束をしていましたが用事ができてしまいました。それで、出席できないとメールで先生に謝りました。メールで謝ったので、次の日に先生に会ったときも出席できなかったことについて謝りませんでした。

Aさんは母国の社会文化、社会言語の背景を持ち、それらがAさんの価値観を形成しています。Aさんは自分の価値観で物事を判断し、行動をとりました。そのため先生との気持ちの行き違いが生じたと思われます。

ケース2でも書いたように、日本という異文化の中で生活し学習する生徒にとって日本語力だけではなく日本の社会文化能力や社会言語能力を意識的に伸ばすことが必要だと思います。

われまず、生徒の母国ではどんな文化、どんな社会言語背景があるのかについて話し合います。次に先生がどうして怒ったのかを想像し相手の気持ちを考えてみるように導きます。正解を押し付けるのではなく、このような場面ではどのような対応の仕方がよいのかを生徒と一緒に考えてみてください。

ケース④： どうして自分だけ？

学校生活で生徒と教員のコミュニケーショントラブルを考える教材です。

授業の日に忘れ物をしないことは学校での約束となっています。Aくんは先生の態度を「外国人への差別」だと感じ、不快な感情を抱きました。

生徒はいろいろな境遇で異文化の中で生活をしています。プラスの気持ちになったりマイナスの気持ちになったりします。白黒を決めつけことよりも生徒の気持ちに寄り添って理解を示すことのほうが受け入れやすいのではないかと思います。

このケースでは、先生とAくんのどちらが正しいか悪いかを決める必要はありません。トラブルになったとき、誰に、いつ、どのように、相談したらよいのかをみんなで話し合い、生徒が社会生活の中で自立し、問題解決の力を身につけていくように手助けをしてください。

ケース⑤： 「太い方がいい！」はダメ・・・？

文化の違いからくるコミュニケーショントラブルを考える教材です。

Aさんは、アメリカからの帰国生徒です。アメリカでのコミュニケーションに慣れているAさんは、どんな時でも自分の意見をはっきりと言うことができます。また、褒められたことに対し、素直に反応することも、アメリカでは当たり前でした。しかし、日本の中学校で、自分のスタイルについて褒められたことに「ありがとう」と言い、自分は太っていると言う友人に対し、「自分は太らないから、あなたのスタイルがいい」と言う「Aは自分が太らないことを自慢している。太っているほうがいいなんて、嫌みだ」と捉えられてしまいました。

このケースは、生徒に「謙虚になりなさい」「人の意見にあわせなさい」ということを教えるものではありません。このケースでは、Aさんが言ったことに対してどうしてBさんは変な顔をしたのかについて考えたり話し合ったりします。この話し合いを通して、自分が経験したコミュニケーション上のトラブルについて話し、なぜ上手くいかなかったのか、相手の立場や気持ちになりながら考えてみてください。

ケース⑥： アルバイトをしたいけど・・・

アルバイトのために必要な日本語力を考える教材です。

Aさんは、アルバイトがしたくて、応募の電話をかけますが、「うちで働くのは無理」だと言われてしまいました。Aさんは、「外国の人？」と聞かれたことなどから、外国人だから雇ってもらえなかったのだと思います。しかし、Aさんの電話の内容を見てみ

ると、敬語が使用されていなかったり、「え？」と聞き返したりしています。アルバイト先の店長は、敬語が使えない人に接客業はできない、と思ったかもしれません。

このケースでは、どうしてAさんはアルバイトを断られてしまったのかについて考え、もし自分がAさんだったら、どのようにしたのか、アルバイトをするために何をしたらいいのかについて考えてみてください。また、生徒自身のアルバイト応募の経験を聞いてみるのもいいでしょう。ここから発展して、求人の見つけ方、応募の仕方、電話のかけ方などについても考えてみるといいと思います。

ケース⑦： お客さんに聞かれたから…

アルバイト先での先輩とのコミュニケーショントラブルを考える教材です。

ラーメン屋さんでアルバイトをしているAくんは、お客さんに「食券機の使い方が分からないから教えてください。」と言われました。アルバイトをして間もないので、Aくんも食券機の使い方がわからなかったのですが、「はい」と答えたところ、10分間キッチンを離れることになり先輩に怒られてしまいました。しかし、Aくんはどうして怒られたのか分かりません。

このケースでは、先輩がどうして怒ったのかを考え、もし自分がAくんだったら、お客さんにわからないことを聞かれた時にどのようにするのか、お客さん対応の時に気をつけるべきことがあるのかについて話し合ってみると良いでしょう。

ケース⑧： なんで怒られるの？・・・

アルバイト先でのお客さんとのコミュニケーショントラブルを考える教材です。

ホームセンターでアルバイトをしている高校生のAくんは、お客さんに「お茶はどこ？」と聞かれました。担当の売り場ではなかったので、「知りません」と答えたところ、お客さんと売り場のチーフの両方に怒られてしまいました。しかし、Aくんはどうして怒られたのか分かりません。このケースでは、お客さんと売り場のチーフそれぞれがどうして怒ったのかを想像してみます。他の人の立場から考えてみることで、相手の気持ちや考えに改めて気づくことがあるはずです。「自分がお客さんだったどう思う？」「売り場のチーフだったらどうする？」などと聞いて、いっしょに考えてみるといいでしょう。

ケース⑨： 通訳できるといったら・・・

アルバイト先での良好な人間関係を作るための教材です。

アルバイト先で高校生のAさんが通訳を頼まれ、そのせいで人間関係に悩むことになったケースです。Aさんのように幼少時に来日した子どもたちは、家庭では母語、外では日本語という生活を送り、親よりも日本語が得意なことが多々あります。家族や親せきに通訳を頼まれることがよくあるため、Aさんも面接時に気軽な気持ちで「通訳できます」と答えたのだと想像できます。また日本人も気軽な気持ちで通訳をお願いしているようです。しかし実際の通訳では、人と人の間に立って意思疎通を行うという高度なコミュニケーションスキルが必要とされる局面もあり、単に両言語が話せるというだけでは難しい場合が

あります。他のケースと同様に、困った時にひとりで問題を抱えずに解決する方法を考えるとともに、このケースでは特に通訳することの難しさについても一緒に考えてほしいと思っています。またAさん自身の母語力も「話せるけど読み書きは難しい…」と不十分な部分があります。複数言語の環境で育っている子どもたちが、自分の言語について振り返ってみる機会にもなればと思っています。

ケース⑩：急に国に帰ることになって・・・

アルバイトを辞める時に必要なコミュニケーションを考える教材です。

Aくんは家族の都合で急に国に帰ることになり、アルバイト先の店長にそのことを告げないまま国へ帰ってしまいました。Aくんはどうして店長に話さなかったのでしょうか。Aくんの気持ちを想像しながら読んでみてください。そして同じように「言おうと思ったけど…言わなかった（言えなかった）」という経験がないか、みんなで話し合ってみてください。このケースではAくんが給料を受け取らないままになっています。その給料についてどうすべきかについてもぜひ話し合ってください。

ケース⑪：文化や習慣の違いから・・・

文化や習慣の違いを考える教材です。Aさんの財布からお金を取って出前のお金を払おうとしたBさんの行為について、中国人のほとんどは「自分もそうする」と答えるそうです。逆に日本人のほとんどは「そういう行為はしない」と答えるそうです。こうした文化や習慣の違いを一方的に「おかしい」と非難するだけではお互いに誤解したり偏見を持ったりしてしまい、良好な人間関係は築けません。自分だったらどうするのかなぜそうするのかを話し合い、お互いに理解し合うことがこの教材の目的です。

ケース⑫：一斉メールに返信しなきゃダメ？

大学での先生とのコミュニケーショントラブルを考える教材です。

大学3年生のAくんは先生からメールをもらいましたが、その後先生に返信をせずに授業に出ました。先生に会うとすぐに「どうして返信しなかったの？」と怒られてしまいました。その場では謝ったものの、授業で先生に会うのにどうしてメールの返信をしないだけで怒られるのかがわかりませんでした。

このケースは、まず、先生がどうして怒ったのかを考えてみます。先生の立場から考えることで、先生の気持ちや考えに改めて気づくことがあるはずです。

しかし、自分が納得できないことは大学の先生であっても、話し合うことも大切です。また、周りの人とお互いの経験について話すことによって、いろいろな対処方法を知ることができるでしょう。習慣や価値観の押し付けにならないよう注意することも大切です。

さらに文化の違いによって、外国人の皆さんは日本で「外国人だから・・・」と言われて嫌に思うことがあるでしょう。ここでは、「外国人だから・・・」と言われた時、自分が日本人に対して「日本人だから・・・」と言った時、それぞれの場面やその時の気持ちなどを思い出して話し合ってみます。それによって、お互いの立場で物事を考え

られるようになることが期待できます。

ケース⑬： 何回も聞いたら悪いから・・・

職場でのコミュニケーショントラブルのケースを考える教材です。

語学力を買われ仕事についた A さんですが、電話相手の言うことが聞き取れなくて、ミスをしてしまいます。日本語が上手な A さんがなぜ聞き取れなかったのでしょうか。日本に長く住んでいて、日本語がペラペラの人でも、電話での日本語はわかりづらいものです。特に日本独特の外来語、カタカナの言葉は、なかなか聞き取れません。日本語が聞き取れない時はたくさんあります。まして電話での会話はなおさら難しいです。A さんのように、「何回も聞いたら悪い」と思ってしまう若者もいます。今までにどんな電話のトラブルがあったか、その時の気持ちも含めて、経験を話してもらって下さい。そして、もし電話で聞き取れなかった時に、どうしたらいいかを話し合ってください。

ケース⑭： どうやって断ったら・・・

良好な人間関係を作るためのアサーションの教材です。 今回のようなケースは、外国につながる若者の家庭ではよくある話です。その場合、どう断ったらいいのかをそれぞれの立場に立って考えよりよい方法を出し合って欲しいと思います。「こうあるべきだ」という誰かの押し付けではなく、「自分ならこうしてしまいそうだけど、でもそれでは人間関係が悪くなるかも」といった気づきを大切に話し合ってください。

ケース⑮： 作業マニュアルが分からなくて・・・

職場での良好な人間関係を作るための教材です。

お菓子工場でアルバイトをしている A さんは、作業マニュアルの日本語が難しいため、仕事の手順や注意が分からず失敗してよく怒られています。しかし「作業マニュアルの日本語が難しくて分からない」とは言えず困っています。話すことが十分に出来ても、仕事のマニュアルなどは難しい場合があります。そして「分からない」と言えないままアルバイトをやめてしまうケースもあります。このケースでは、誰にいつどのように相談したらいいのかをみんなで話し合います。それによって、問題があったときには周囲の人に相談すれば解決できる(かもしれない)ということを生徒は知ることができます。

ケース⑯： 言われてないから・・・

会社の同僚との旅行でのコミュニケーショントラブルを考える教材です。

サッカーが大好きな A さんが、同僚たちと車で地方の試合を見に行きました。特に何も言われなかったのに、A さんはお礼だけ言って帰りました。次の日に、車にかかった費用を払うべきだと文句を言われてしまいました。

旅行や食事などの費用を誰がもつかなどは、国によって違います。はっきりルールがあるわけではありませんが、暗黙の了解であることも多くあります。このケースでは、A さんと同僚たちそれぞれの気持ちを考えてもらい、自分だったら自分の国だったらどうするかについて話し合ってください。

① ^{がっこう やす} 学校を休むとき・・・

^{がっこう はじ} 学校が始まってすぐに^{か ぜ} 風邪をひいてしまった。^{せんせい} 先生に「^{がっこう やす} 学校を休む時は^{とき} 連絡^{れんらく} をしてください」といわれていたのを思い出したので、^{おも} ^だ ^{でんわ} 電話をかけてみた

プルルルル～

^{がっこう} 学校：「はい、^{こうこうしよくいんしつ} せむら高校職員室です」

わたし：「・・・あの、^{せんせい} A先生いますか」

^{がっこう} 学校：「^{なまえ} 名前と^{がくねん} 学年とクラスは？」

わたし：「あ、Bといいます。^{ねん くみ} 1年3組です。」

^{がっこう} 学校：「ちょっと^ま 待っててください」

わたし：「・・・」

^{たんにん} 担任のA先生：「^{せんせい} もしもし、^か 代わりましたAです」

わたし：「^{せんせい} 先生、^{がっこうやす} 学校休みます」

^{たんにん} 担任のA先生：「^{せんせい} どうしましたか？」

わたし：「・・・^{か ぜ} 風邪です」

^{たんにん} 担任のA先生：「^{せんせい} そうですか。^{あたた} 温かくして、よく^ね 寝てくださいね」

わたし：「はい」

^{がっこう} 学校に^{れんらく} 連絡したし、^{あんしん} 安心して^ね 寝た。^{つぎ} 次の^ひ 日^お 起きたら、^{いた} まだのどが^{せき} 痛いし^で 咳も出るの
^{やす} で^{やす} 休むことにした。^{きのう} 昨日、^{せんせい} 先生に^{か ぜ} 風邪だと^{れんらく} 連絡をしたからもういいと^{おも} 思っていた。
^{つぎ} ^ひ しかし次の日・・・

プルルルル～

^{たんにん} 担任のA先生：「^{せんせい} もしもし。^{たんにん} Bさんの担任のAです。^{たんにん} Bさんはいますか？」

^{かあ} お母さん：「え？^ね 寝ています。」

^{たんにん} 担任の先生：「^{せんせい} 3日も^{か やす} 休んでいて^{れんらく} 連絡がないんです。^{おも} どうしたかなと思ひまして」

^{かあ} お母さん：「・・・わたしは^{にほんご} 日本語が^{むずか} 難しいので・・・」

つぎ か ぜ なお がっこう い やす れんらく しか
 次の日、風邪が治ったので学校に行ったら「休むときは連絡をすること」と叱ら
 れてしまった。なんでかなー、1回連絡したのになー・・・



もんだい 問題1 Bくんはどうして叱られてしまったのでしょうか。

ア じぶん でんわ
 自分で電話したから

イ か め でんわ
 2日目に電話しなかったから

ウ なお
 治ったことをいわなかったから

エ その他

もんだい 問題2 先生はどんな気持ちでしたか。

きょう やす ちこく
 今日休みなのかな？遅刻かな？

がっこう く とちゅう なに
 学校に来る途中で、何かトラブルが
 あったのかな・・・

でんわ
 電話ができないぐらい、大変な
 のかな・・・



やす
 ズル休み？

ことば：遅刻 する休み

もんだい 問題3 がっこう やす とき 学校を休む時、Bくんはこれからどんなことに気をつけたらいいでしょうか。

もんだい 問題4 あなたのがっこうではどんな決まりがありますか。まわ ひと はな 周りの人と話してみましょう。

～やってみよう～ 「でんわ 電話をかける」

がっこう やす とき でんわ かた 学校やアルバイトを休む時の電話のかけ方を考えてまわ ひと はな 周りの人と話してみましょう。

でんわ ○電話でいうこと

☐ なまえ 名前

☐ りゆう 理由

☐

☐

き ○気をつけること

☐ 連絡する時間

☐

☐

ことば：き 決まり

～ちょっと休憩～

なぜなぜ

こた
答えは

36ページ!

【例】 ^{れい}パンはパンでも、^た食べられないパンはなんだ？



【1】 ^{くだもの}バナナ ^{なに}バナナバナナバナナ ←この果物は何？

【2】  あいさつです

【3】 ^{きら}パパが嫌いな ^{くだもの}果物はなに？

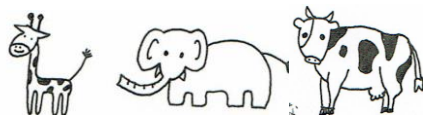
【4】 ^{しょく}あんぱん、^{なか}食パン、^{ひと}カレーパンの中で、^い人の言うことをよく ^き聞くのはどれ？



【5】 ^{なか}クジラ、^いイルカ、^{いちばんかる}アシカの中で、一番軽いのはどれ？



【6】 ^{なか}きりん、^いぞう、^{もんく}うしの中で、いつも文句を言っている ^{どうぶつ}動物はどれ？



【7】 ^{うれ}嬉しいときは ^{とき}青い ^{あお}です。 ^{かな}悲しいときは ^な泣き ^{ねむ}ます。眠るときはキラキラします。

わたしはだれでしょう？

【8】 ^{あか}赤い ^{かた}です。 ^{ばしょ}固い ^なです。 ^{ねむ}いろいろな場所 ^にいます。

わたしはだれでしょう？

② 正直に答えたのに・・・

ある月曜日の朝、高校2年生のAくんは遅刻しました。それで担任の先生に明日からは遅刻しないように注意されました。次の朝Aくんはまた遅れて登校しました。ちょうどチャイムがなり急いで教室に入ろうとしたところで、担任の先生に声をかけられました。

先生：「どうして遅刻したの？」

Aくん：「電車がおそい。××駅で待った。学校のまへの道を渡るとき、車が止まらな
い。だから遅刻した。」

先生：「昨日注意したとき『うん』と返事したよね。反省していないなあ。」

(言い訳ばかりいっているから先生は少し厳しい声でいった)

Aくん：「はあ？」 (反抗的な態度で)

先生：「反省しないなら何をいってもだめだ。お前、帰れ！」

Aくん：「わかった」

Aくんはそのまま、教室に入らずに家に帰ってしまいました・・・。

遅刻の理由を先生が聞いたから説明しました。そうしたら先生がいきなり怒り出したからいやな気持ちになりました。「お前」はアクション映画でヤクザがよく使う言葉だったから怖くなりました。帰れといわれたから帰るしかないと思いました。



ことは：声をかける

反省する

言い訳

反抗的な

アクション映画

やくざ

問題1 ^{もんだい} 先生^{せんせい}はどうして怒^{おこ}りましたか。

問題2 ^{もんだい} 「どうして遅^ち刻^{こく}した？」と聞^きかれて、あなた^きがAくんだったらどうしますか。

ア ^{おく}遅^りれた^{りゅう}理由^{りゆう}をいう

イ ^{さき}とりあえず^{あやま}先に謝^{あやま}る

ウ ^{だま}黙^{だま}っている

エ ^{ほか}その他

問題3 ^{もんだい} 「帰^{かえ}れ」といわれて、あなたはどうしますか。

ア ^{かえ}帰^{かえ}る

イ ^わよく分^わからないけど謝^{あやま}る

ウ ^{せんせい}先生^{せんせい}にどうして帰^{かえ}らないといけない
のか聞^きく

エ ^{ほか}その他

○先生^{せんせい}の気持^{きもち}ちは…

^{まえ}前の^ひ日に^{やくそく}約束^{やくそく}したばかりなのに、また^{おな}同じ^くことを^{かえ}繰り返^{りゆう}したため、^き理由^きを聞^ききま
^{ふつう}した。普通^{ふつう}はまず^{あやま}謝^{あやま}るのに、^い言い^{わけ}訳^{わけ}しかして^{あやま}いないし、^{はんせい}謝^{あやま}らないから反^{はん}省^{せい}して
^{かん}いないと^{かん}感じ^{かん}ました。^{かえ}帰^{かえ}れといったら^{ほんとう}本当^{ほんとう}に^{かえ}帰^{かえ}ってしまったから、^いなに^{ちが}かの行^いき違^{ちが}
^{かん}いがあると^{かん}感じ^{かん}ました。^{はな}ゆっく^あり話^{はな}し合^あう必要^{ひつよう}があると思^{おも}います。

ことば：行^いき違^{ちが}い



③ なんでいけないの？・・・

こうこう ねんせい せんせい ほう か ご せんたく か もく ご ぼ ご じゆぎよう
 高校2年生のAさんはB先生に、放課後やっている選択科目の××語(Aさんの母語)の授業

で、Aさんのくに ぶん か ことば ばなし したの とき
 で、Aさんの国の文化や言葉について話をするゲストスピーカーを頼られました。その時は
 アルバイトがあったので、ほかのひ か
 アルバイトがあったので、ほかの日に変えてもらいました。

やくそく ひ きゅう よう じ じゆぎよう
 しかし約束したその日になって、Aさんは急にほかの用事ができました。そして授業の

いちじかんまえ せんせい けいたい い おく かえ
 一時間前に先生の携帯に「すみません。行けません」というメールを送って、帰ってしま
 いました。つぎ ひ せんせい ふ き げん
 いました。次の日、先生は不機嫌そうでした。



い わる
 行けなかったのは悪かったけど、ちゃんとメール

れんらく あやま
 で連絡したし謝ったのに・・・どうして？

もんだい せんせい おこ おも
 問題1 先生はどうして怒っていると思いますか。

もんだい わる おも
 問題2 あなたはAさんが悪いと思いますか。

ことば ほう か ご
 ことば：放課後

せんたく か もく
 選択科目

ゲストスピーカー

ぼ ご
 母語

ふ き げん
 不機嫌

もんだい

問題3 Aさんはどうすればよかったですか。

ア ようじ 用事ができて、やくそく まも 約束を守る

イ ようじ 用事ができたことを

ちよくせつせんせい 直接先生にいう

ウ り ゆ う せ つ め い 理由を説明する

エ その他

問題4 やくそく 約束をキャンセルする時、どうしますか。とき まわ ひと はな 周りの人と話してみましよう。

せんせい き も ○先生の気持ちは・・・



こま ドダキャンされたので困りました。

がっこう かえ まえ しょくいんしつ き せつめい 学校から帰る前に、職員室に来て説明してほしかったです。

メールはいつも かくにん 確認しているわけではないし、来るとおも

せいと きょうしつ ざんねん ラスの生徒たちとずっと教室で待っていたので残念でした。

つぎ ひ がっこう あ あやま こ 次の日に学校で会ったときも謝りに来なかったので、メール

す かって おも かん で済んだと勝手に思っているように感じました。

もっと あいて き も かんが もっと相手の気持ちを考えてほしいです。

ことば：ドタキャン

す 済む

かって 勝手

④ どうして自分だけ？

高校^{こうこう}2年生^{ねんせい}のAくんはある日^ひ、体育^{たいいく}の教科書^{きょうかしょ}を忘れてしまいました。ほかにも何人^{なんにん}か忘れた生徒^{せいと}がいて、みんなで先生^{せんせい}の忘れ物^{わすれもの}チェックを受けるために並^{なら}んでいました。自分の番^{ばん}になったとき、先生^{せんせい}に「忘れました」といったら、先生はとても不機嫌^{ふきげん}そうな顔^{かお}で「また忘れた？」といいました。ほかの日本人生徒^{にほんじんせい}に対しては「しょうがないなあ」といって許^{ゆる}していたのに・・・。

Aくんは、自分が外国人^{がいこくじん}だから先生^{せんせい}の態度^{たいど}が違^{ちが}うのだと思い「どうして、私^{わたし}だけ？」と反抗^{はんこう}的な口調^{くちよう}で言い返^{かえ}しました。すると先生^{せんせい}に「帰れ！」といわれました。

Aくんは先生^{せんせい}の態度^{たいど}の違^{ちが}いに不満^{ふまん}を感じたので、そのまま授業^{じゆぎよう}を受けないで家^{いえ}に帰^{かえ}ってしまいました・・・。

先生^{せんせい}は忘れ物^{わすれもの}をした日本人生徒^{にほんじんせい}と普通^{ふつう}に話^{はな}していたので、自分^{じぶん}も同じようにしてくれると思^{おも}いました。でも怒^{おこ}られたので、自分^{じぶん}は外国人^{がいこくじん}だから差別^{さべつ}されたと思^{おも}いました。
腹^{はら}が立^たって家^{いえ}に帰^{かえ}ってしまったのですが、その後^{あと}、どうすればいいかわ分^わからなくて・・・



ことば：不機嫌^{ふきげん} しょうがない 反抗^{はんこう}的な 口調^{くちよう} いい返^{かえ}す 不満^{ふまん} 差別^{さべつ} 腹^{はら}が立^た

もんだい せんせい かえ
問題1 先生が「帰れ」といったら、あなたは どう しますか。

もんだい いえ かえ あと なや
問題2 Aくんは家に帰った後、どうしたらいいか悩みました。あなたがAくんだったら どう しますか？

ア ね 寝る

イ がっこう もど 学校に戻る

ウ ほか せんせい そうだん 他の先生に相談する

エ ほか その他

○Aくんはその後・・・



がっこう もど たんにん せんせい そうだん
学校に戻り、担任の先生に相談しました。

たんにん せんせい いっしょ たいいく せんせい はな い
そして担任の先生と一緒に体育の先生に話しに行きました。

⑤ 太い方がいい！はダメ・・・？

Aさんはアメリカから^{にほん}日本に^き来ました。お父さんもお母さんもお^{とう}母さんもお^{かあ}母さんですが、アメリカで
生まれて、アメリカの^{しょうがっこう}小学校を^{そつぎょう}卒業しました。日本へ来て、日本の^{にほん}中学校へ^き入学しまし
た。勉強は^{べんきょう}難しいけど、日本語を^{むづか}話^{にほん}することが^{はな}できるので^{ともだち}友達もできました。

ある日、^ひ友達^{ともだち}のBちゃんと^{はなし}ダイエットの話を^{わたしふと}していました。Bちゃんが「私太ってるか
ら^{ほそ}ダイエットしたい！Aちゃん細くていいな～。うらやましい。」と^{わたしふと}いいました。Aさんは
友達に「^{ともだち}ありがとう。わたし^{ふと}太らないの。もっと^{ふと}太りたい。Bちゃんの^{へん}スタイルが^{かお}いいよ！」

と^{こた}答えました。するとBちゃんは、^{へん}おどろいたような^{かお}変な顔をしました。

数日後、「Aちゃんは^{じぶん}自分の^{じまん}スタイルを^{うわさ}自慢^{なが}している」という噂が^{うわさ}クラスに^{なが}流れました。
Aさんはどうしてそんな^{うわさ}噂が^{なが}流れたのか^わ分かりません。でも、^{わる}なんだか悪いことをした
みたいで^{かな}悲しい^き気持ちになりました。



わたし ^{じまん}私は自慢してないのに・・・

ことは：ダイエット

スタイル

すうじつご
数日後

へん
変な

じまん
自慢する

うわさ ^{なが}
噂が流れる

もんだい
問題1 Bさんは、どうしておどろいたような変な顔をしたと思いますか？

ア AさんがBさんは太っている
といったから

イ Aさんが太らないと自慢している
と思ったから

ウ Bさんがお世辞をいったのに
Aさんが本気にしたから

エ その他

もんだい
問題2 あなたがAさんだったら、友達にほめられた時に何とといいますか？

ア 喜んで「ありがとう」という

イ 「そんなことないよ」という

ウ 笑ってごまかす

エ その他

もんだい
問題3 今までに誤解されたことがありますか。

⑥ アルバイトをしたいけど・・・

Aさんは来日2年目の高校生です。学校の友達もたくさんで、日本語も自信をもって話せるようになってきました。

最近、友達と遊びに行くことも増えたので、アルバイトをしようと思いました。家の近くにあるファミリーレストランがホールスタッフを募集していたので、さっそくレストランに電話で応募しました。友達以外の日本人に電話をかけるのは初めてでした。でも、いつも友達と電話しているので、電話は慣れていました。

店の店長が電話に出たので「アルバイトをしたいんだけど...」と話すと、「外国の人？」と聞かれました。Aさんは「うん。」と答えると、店長は「どこの国から来たの？」「いつ日本に来たの？」「学校はどこ？」と質問をしました。Aさんは、どうしてこんなに質問するんだろう？と思いました。しかも声が聞こえにくかったので、「え？」と何回も聞き直しました。店長は、「あなたはうちで働くのは無理」といいました。

Aさんは、自分が外国人だから断われたのだと思いました。頑張って日本語を勉強しても日本で働けないのかも・・・と思って将来が不安になりました。



ことば：ホールスタッフ

募集

さっそく

応募する

慣れる

もんだい
問題1 レストランの店長は、どうしてAさんのアルバイトを断ったと思いますか？

ア にほんご へた おも
日本語が下手だと思ったから

イ Aさんが外国人だから

ウ じぶん みせ あ
自分の店には合わない
おも
と思ったから

エ その他

もんだい
問題2 あなたがAさんだったら、アルバイトをするために何をしますか。

ア でんわ れんしゅう
電話の練習をする

イ ちよくせつ さき たず
直接バイト先を訪ねる

ウ アルバイトをしている友達に
アドバイスしてもらう

エ その他

もんだい
問題3 あなたはアルバイトをしたことがありますか。どうやって見つけましたか。また、
どうやって応募しましたか。

⑦ お客さんに聞かれたから・・・

Aくんはラーメン屋さんで働いています。そのお店には食券機があり、ラーメンを注文する時はまず、食券を買わなければなりません。Aくんはいつもキッチンにいますが、カウンター越しにお客様から話しかけられることもあります。ある日・・・

客：すみません。食券機の使い方が分からないから教えてください。

Aくん：はい！

(どうしよう！僕も使ったことがないし、教えてもらってないから分からない)

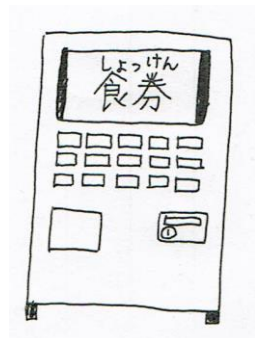
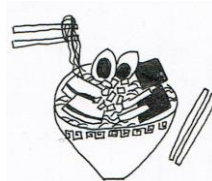
・・・ (10分後)

やっと解決できた！Aくんがキッチンに戻ると・・・

先輩：Aくん！なんでずっとそこにいたの？早く仕事して！外のことはいいから！！

Aくん：でも...

先輩：いい訳はいいから、仕事して！



お客様の質問に答えなくてよかったのかな・・・。

いい訳してないのに・・・。

ことば：食券機

カウンター

～越し

いい訳

もんだい せんばい おこ おも
問題1 先輩はどうして怒ったと思いますか。

ア Aくんがサボっていると
おも
思ったから

イ 勝手にキッチンから離れたから
かって はな

ウ 先輩を呼ばなかったから
せんばい よ

エ その他
ほか

もんだい
問題2 あなたはAくんが悪いと思いますか。理由も考えてください。
わる おも り ゆ う かんが

もんだい
問題3 アルバイトでお客様に聞かれて分からない時、どうしますか。
きやくさま き わ と き

ア 「分かりません」と答える
わ こた

イ 聞こえないふりをする
き

ウ 先輩に聞く
せんばい き

エ その他
ほか

もんだい
問題4 お客様に分からないことを聞かれた時、気をつけることはありますか。周りの人と
きやくさま わ き と き き まわ ひと
話しましょう。

☐ 言葉遣い
こと ばづか

☐ 表情、態度
ひょうじょう たい ど

☐

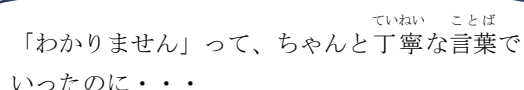
☐

ことば：～遣い
づか

表情
ひょうじょう

⑧ ^{おこ}なんで怒られるの？・・・

くんは、ますます分^わからなくなりました。



うば
売り場

じゅうぎょういん
従業員

チーフ

たんとう
担当

ふしぎ
不思議ふまん
不満

どうりょう
同僚

問題1 ^{もんだい} あなたが A くんだったら、お客^{きやく}さんから聞^きかれた時^{とき}どうしますか。理由^{りゆう}もいって
ください。

ア A くんと同じように「わかりませ
ん」という

イ お客^{きやく}さんといっしょに
お茶^{ちや}を探^{さが}す

ウ 「ごめんなさい」といって逃^にげる

エ その他^{ほか}

問題2 ^{もんだい} 2 階^{かい}のチーフはどうして『わかりません』といったらだめだ』といったと思^{おも}いま
すか。

ア 敬語^{けいご}を使う

イ 笑顔^{えがお}

ウ 親切^{しんせつ}な気持^{きもち}ち

エ その他^{ほか}

ことば：接客^{せつきゃく}

敬語^{けいご}

⑨ つうやく
通訳できるといったら・・・

Aさんは5歳の時にベトナムから日本にきました。そして今は高校に通いながら、クリーニング工場でアルバイトをしています。

その工場の社員は日本人ですが、アルバイトはみんな同じベトナム人です。ほとんどの人がBさんより年上で、日本語が話せません。面接の時、Aさんは日本人社員から「他のアルバイトの人に通訳ができますか」と聞かれ「できます」と答えました。

それからは、ベトナム人アルバイトへの連絡はAさんが通訳するようになりました。時には「おしゃべりしないように」「もっと早く」などの注意を通訳する場面もあり、Bさんは年上の人に少し言いづらいな...と思うこともあります。そしてベトナム人アルバイトの人たちも、あまりAさんと話してくれなくなっていました。

ある時、日本人社員から「お正月、国に帰らないように」という注意をベトナム語で紙に書いて更衣室に貼ってほしいと言われました。実はAさんはベトナム語の会話はできますが、書くことはできません。それにそんな紙を更衣室に貼ったら、みんなに嫌われるのではないかとおもいます。Aさんはどうしたらいいでしょうか。

通訳ってこんなに大変だと思わなかった・・・



ことは：場面

～づらい

ほんやく
翻訳

こういしつ
更衣室

は
貼る

じつ
実は

もんだい
問題 1 あなたが A さんだったらこの後^{あと}どうしますか。

ア アルバイトをやめる

イ ベトナム人アルバイトの^{ひと}人に

^{そうだん}
相談する

ウ ^{しゃいん}社員^{ひと}の人に^{こま}困っていることをいう

エ ^{かぞく}家族^{ともだち}や^{そうだん}友達に相談する

オ ベトナム語を調べて^ご注意^{しら}の紙^{ちゅうい}を書く^{かみ}

カ ^{ほか}その他

もんだい
問題 2 1 で選^{えら}んだ答^{こた}えについて、周^{まわ}りの人^{ひと}と話^{はな}しましょう。

もんだい
問題 3 通訳^{つうやく}を頼^{たの}まれて困^{こま}ったことがありますか。

⑩ 急に国に帰ることになって・・・

Aくんはアルバイトを始めました。スーパーの品出しの仕事です。始めた時は日本語が少

し不安だったのですが、先輩がていねいに教えてくれ、仕事にもだんだん慣れてきました。

働き始めて半年ほどたった10月、急に家族の都合で国に帰ることになりました。いつ

日本に戻るか決まっていなかったので、11月のシフトが出せません。A君は店長に何て

いったらいいのかわからず、考えていたら面倒臭くなってしまって、結局アルバイト先に

は連絡せずに国に帰ってしまいました。

一ヶ月後の12月、日本に戻ってきました。銀行の口座を確認したら10月に働いた分の

給料が振り込まれていません。



突然帰ることになったから、店長にいろいろ
で…。10月に働いた分はもらえないのかなあ…

11月のシフトを出してって電話をしたらつながら
なくて…。噂で国に帰ったと聞いたけど、よく分からな
いから、連絡がついてから10月分の給料を払おう
と思ってます。



ことば：品出し

つごう
都合

つごう
結局

～せずに

つながらない

うわさ
噂

もんだい
問題1 あなたがAくんだったら、国に帰ることになった時どうしますか。

ア 店長に話す

イ 先輩に話す

ウ 店長に話さないまま帰る

エ その他

もんだい
問題2 もしあなたが店長だったらAくんをどう思いますか。

ア 無責任だと思う

イ 病気になったと思う

ウ 外国人だからだと思う

エ その他

もんだい
問題3 アルバイトをやめたことがありますか。やめたことがあれば、どうしてやめたか。どうやってやめましたか。

⑪ 文化や習慣の違いから・・・

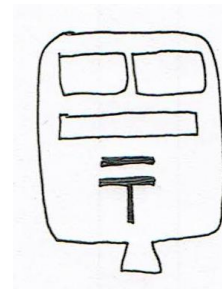
Aさんは日本^{にほん}人^{じん}大^{だい}学^{がく}生^{せい}で、サークル^{せんぱい}の先輩^{せんぱい}です。Aさんの家^{いえ}に後^{こう}輩^{はい}が集^{あつ}まって勉^{べん}強^{きやう}会^{かい}を開^{ひら}きました。Aさんは後^{こう}輩^{はい}の面^{めん}倒^{とう}見^みがよ^ひく、その日^ひは3人^{にん}の後^{こう}輩^{はい}が来^きていま^{なか}した。その中^{なか}には中^{ちゆう}国^{ごく}出^{しゅつ}身^{しん}のBさん^{ちか}もいま^{ひる}した。昼^{ひる}が近^{ちか}くな^{ちか}ってき^{ちか}たので、Aさんはみ^きん^きな^きに「今日^{きよう}は僕^{ぼく}が、ごちそうするよ」とい^でって出^で前^{まえ}を頼^{たの}んでいま^{たの}した。

しばらくして、Aさんは、ち^ちょ^ちと近^{ちか}く^{ちか}の郵^{ゆう}便^{びん}ポ^てス^だトに手^で紙^{がみ}を出^だしに出^でか^でけてしま^でいま^でした。Aさん^{あいだ}がい^でない間^まに、出^で前^{まえ}が届^{とど}きま^{のこ}した。残^{のこ}っ^{こう}て^{はい}いた後^{にん}輩^{にん}3人^{にん}はAさん^{あいだ}がい^でないの^ので

どうし^かょう^みか^あと顔^{かお}を見^みあ^あわせま^{とき}した。その時^{とき}中^{ちゆう}国^{ごく}出^{しゅつ}身^{しん}のBさん^{ちか}は、Aさん^おの置^おいてあ^おった

鞆^{かばん}の中^{なか}から財^{さい}布^ふを取^とり出^だして、出^で前^{まえ}の人^{ひと}にお金^{かね}を払^{はら}いま^{ほか}した。他^{ほか}の後^{こう}輩^{はい}は「Bさん^{ちか}、Aさん^{かえ}が帰^{かえ}って^まくるま^まで待^{まち}って^まら^まおうよ」とい^いいま^いしたが、Bさん^{ちか}は「Aさん^{かえ}がごち^{ごち}そう^{そう}して

く^くれると^とい^いった^たから大^{だい}丈^{じやう}夫^ぶだ^だよ」と・・・



ことば：サークル 面^{めん}倒^{とう}見^みが^みいい 出^で前^{まえ} ごち^{ごち}そう^{そう}する 郵^{ゆう}便^{びん}ポ^てス^だト 顔^{かお}を見^みあ^あわせる

問題1 もんだい あなた^{あなた}だ^だつ^つたら^{たら}どう^{どう}し^しま^ます^すか^か？

ア BさんのようにAさんの^{さいふ}財布から

^{だいきん}代金^{はら}を払う

イ Aさんが^{かえ}帰ってくるまで

^ま待ってもらう

ウ ^{じぶん}自分で^{かね}お金を^{はら}払っておく

エ ^{ほか}その他

問題2 ^{もんだい} 1で^{えら}選んだ^{こた}答えについて^{まわ}周りの人^{ひと}と^{はな}話してみましよう。

～もっと^{かんが}考えてみよう～ 「^{ぶん か}文化や^{しゅうかん}習慣の^{ちが}違い」

^{がいこく}外国につながる^こ子どもや^{わかもの}若者が^{かん}感じている^{ぶん か}文化や^{しゅうかん}習慣の^{ちが}違いについて、^{がいこく}外国につながる^{ひと}人

は、^{じぶん}自分の^{たいけん}体験^{はな}を話してみましよう。

^{にほんじん}日本人や^{にほん う}日本生まれの^{ひと}人は、^{がいこく}外国につながる^{ひと}人に^き聞いてみましよう。

⑫ いっせい へんしん
一斉メールに返信しなくちゃダメ？

Aくんは小さい頃からずっと日本にいました。日本語や日本の文化についてもよく理解できていました。将来の夢は先生になることです。Aくんは大学で先生になるための授業を一生懸命履修していました。大学3年生になったAくんは教壇実習の授業をとり、先生とメールでやりとりするようになりました。

ある日、先生から授業を履修している生徒全員にメールが届きました。メールを受け取ったAくんは先生のメールに従って次授業の準備をしました。しかし3日後の授業で先生に会ったとたん「どうして返信しなかったの？他の生徒は全員くれたよ？」と怒られてしまいました。Aくんは謝らなければと焦りながら「はい。すみませんでした。今日授業の時に先生に直接話したらいいのかと思っていました」といいました。すると先生は「それにしても日本はね、メールをもらったら返信するのは当たり前だよ？××(Aくんの国)はメールをもらったら返信しなくても許されるの？留学生はそういうの多いよね。」といいました。

小さい頃から日本に住んでいたAくんは××(Aくんの国)についてあまり知らなかったので「はい・・・。やっ、分かりません。ごめんなさい。次気をつけます」と、少し納得できない部分がありましたが謝りました。

ことば：履修する 教壇実習 やりとり ～に従って ～たとたん 焦る なっとくする



いっせいそうしん へんしん
一斉送信には返信しなくてもいいじゃん・・・。
じゅぎょう あ とし
授業で会うからその時じゃダメなの？

わ
分からないんじゃないくて、日本はこ
うしなければならないの！



もんだい せんせい へんしん おこ おも
問題1 先生は返信がなかったことをどうして怒ったと思いますか。

ア 無視されたと思ったから

イ メールが届いているかどうか

しんぱい
心配したから

ウ 授業の準備をしていない
おも
と思ったから

エ その他

もんだい おこ わ とし
問題2 どうして怒られているか分からない時、あなただったらどうしますか。

ア 謝る

イ 謝らない

ウ あとで友達に聞く

エ その他

もんだい もんだい えら り ゆ う まわ ひと はな
問題3 問題2を選んだ理由を周りの人と話してみましょう。

もんだい 問題4 あなたは「外国人だから・・・」といわれたことがありますか？その時どうしま

したか？周りの人と話してみましよう。

ぼく がいこくじん ちい 僕は外国人だけど小さいころからずっと日本で暮らしてるし・・・。

せんせい くに なまえ へんしん ゆる 先生に「××（国の名前）はメールをもらって返信しなくても許されるの？

りゅうがくせい おお いや き も 留学生はそういうの多いよね。」といわれて、すごく嫌な気持ちだった。



かんが ~もっと考えてみよう~ がいこくじん にほんじん 「外国人だから・・・／日本人だから・・・」

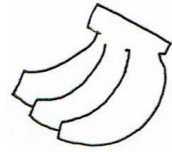
にほんじん たい にほんじん い おも あなたは日本人に対して、「日本人だから・・・」と言った／思ったことがありますか？ど

とき んな時ですか？周りの人と話してみましよう

なぞなぞのこたえ

【1】^{くだもの}バナバナバナバナバナバナ ←この果物は何？

A: バナナ (^こバナが7個あるから)



【2】 ←あいさつです

A: ありがとう (^{とう}ありが10いるから)

【3】^{きら}パパが嫌いな^{くだもの}果物はなに？

A: パパイア (^{いや}パパが嫌)



【4】^{しょく}あんぱん、^{なか}食パン、^{ひと}カレーパンの中で、^い人の言うことをよく^き聞くのはどれ？

A: ^{しょく}食パン (^{みみ}耳があるから)



【5】^{なか}クジラ、イルカ、^{いちばんかる}アシカの中で、一番軽いのはどれ？

A: イルカ (^ようしろから読むとカルイになるから)



【6】^{なか}きりん、^{もんく}ぞう、^いうしの中で、いつも文句を言っている^{どうぶつ}動物はどれ？

A: うし (^なモーモーと鳴くから(^{にほん}日本の^{ばあい}場合))



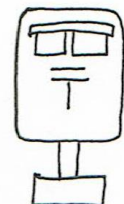
【7】^{うれ}嬉しいときは^{あお}青いです。^{かな}悲しいときは^な泣きます。^{ねむ}眠るときはキラキラします。

わたしはだれでしょう？ A: ^{そら}空



【8】^{あか}赤いです。^{かた}固いです。いろいろな^{ばしょ}場所にいます。

わたしはだれでしょう？ A: ポスト



⑬ なんかい き わる 何回も聞いたら悪いから・・・

Aさんはある会社で働くことになりました。日本語も上手で英語もできると、会社の人にいつもほめられていました。

ある日、一本の電話がかかってきて、Aさんがとりました。それは新規の会社がサンプルを送ってほしいとの電話でした。他の社員の手が空いていなかったのに、Aさんが対応することにしました。いつものように電話の相手に住所と会社名を聞きましたが、会社名がカタカナの名前でうまく聞き取れません。何回か聞き直しましたが、合っているか不安でした。でもあまりたくさん聞き直したら、相手に悪いと思い、サンプルをすぐ送るといって電話を切りました。

急いで会社名を電話帳で探したり他の社員に聞いたりしました。しかし会社の名前は、はっきりとは分かりませんでした。サンプルを送りましたが、結局戻ってきてしまいました。それが原因で契約できなかったのに、Aさんは叱られました。

そのことがあってから、Aさんは電話に出るのが怖くなりました。



ことば：新規

サンプル

て あ
手が空く

でんわちょう
電話帳

けっきょく
結局

けいやく
契約

もんだい
問題 1 電話で困ったことはありますか。どんな時でしたか。

もんだい
問題 2 電話で聞き取れなかったら、どんな方法で確認しますか？

ア わ 分かるまで何回も聞く

イ ほか 他人にかわってもらう

ウ FAX に書いて送ってもらう

エ ろくおん 録音する

オ その他

⑭ どうやって断ったら・・・

Aさんは社会人1年生です。会社は中 小企業ですがアットホームなところで、社長さんはじめみんな仲良くしてくれます。Aさんもみんなと仲良くしたいと思って働いています。会社では年1回社員旅行を行っています。今年は紅葉の季節に土曜日と日曜日の1泊2日で行くことになりました。

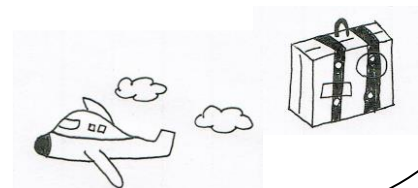
Aさんは社長さんから「参加しますか」と聞かれて、すぐに「参加します」と答えました。そうしたら、社長さんも会社の皆さんもとても喜んでくれました。

社員旅行があと1週間になった日曜日に、父親から「来週の日曜日は親戚の家に集まってお祭りをする事になっているから、家族みんなで参加するぞ」といい出しました。

父親はいつも来週の日曜日の予定を1週間前に告げます。Aさんが「来週、社員旅行があるから行けない」といったら、「社員旅行は自由参加だろ。行かなくていい」といわれてしまいました。Aさんの国では父親の言葉は絶対です。

Aさんは悩んだ結果、社員旅行をやめることにしました。親戚のお祭りはAさんの国の出身の人がたくさん集まってお祝いをするものですから、参加しないと家族や親戚とのつながりがバラバラになってしまいます。社員旅行を黙って休むわけにもいかないし・・・

どうやって社員旅行を断ったらいいのでしょうか？



ことば： 中 小 企業 アットホーム ～はじめ 紅葉 親戚 告げる つながり

問題1 あなたがAさんだったら、どんな断り方をしますか？

ア 前の日に病気になったとかうそを
ついて行かない

イ なるべく早く何かうその理由をいっ
て「行けなくなった」という

ウ 何もいわないで、旅行の朝、連絡が
きたら「行けなくなった」という

エ 社長さんだけに本当のことを話し
て分かってもらう

エ おや 親から社長さんに話してもらう

オ 会社の先輩に相談してどうしたら
いいか教えてもらう

カ その他

問題2 1で選んだ答えについて周りの人と話してみましょう。

⑮ 作業マニュアルが分からなくて・・・

A さんはお菓子工場で働いています。クッキーなどを袋詰めするライン、ゼリーなどをカップに入れるラインなど、その工場には色々なラインがあります。A さんがどの持ち場に入るかは当日にならないと分かりません。工場に行くと、係長の B さんがその日のラインの「指示書」を渡してくれます。その紙には、仕事の内容が書いてあります。「指示書」を読んで、すぐ持ち場に行って仕事を始めなければなりません。実は A さんは、その「指示書」に書いてある内容がよく分かりませんでした。漢字がたくさんあるし、知らない言葉もあります。でも、他の人たちはみんなそれを読んですぐに仕事を始めるので、持ち場のリーダーに聞く時間もありませんでした。また面接の時に、係長の B さんに「日本語は大丈夫ですか？」と聞かれて、「はい大丈夫です。」と答えたので、いまさら「分からない」とはいえません。

A さんは、とにかく全部読んで、分かるところを頭に入れて、分からないところは、他の人がしているのを見ながら仕事をしています。でも「あ！ちがうよ！その箱は 25 個！」などと、いっしょに働いているおじさんに大きな声で怒鳴られたりします。毎回、指示書と違うことをしたり、確認すべきことをしなかったりして、持ち場のリーダーによく注意されます。でも、A さんの日本語の力では指示書を全部理解できないし、毎回、持ち場が変わるので前もって誰かに教えてもらうこともできません。A さんはどうしたらいいか分かりません。



ことは：ライン も 持ち場 しじしよ 指示書 じつ 実際 いまさら ど な 怒鳴る ～すべき まえ 前もって

係長のBさんは持ち場のリーダーに怒られているAさんの様子を見て、「Aさん、指示書に書いてあるから読めば大丈夫だよ」と声をかけてくれます。Aさんは会社をやめようかどうかと、今迷っています。前のコンビニの仕事も、店長の指示やお客さんの言葉がわからなくて辞めました。今度の仕事は工場のラインだから日本語をあまり使わなくていいと思っていたので、Aさんは落ち込んでいます。

問題1 あなたがAさんだったらどうしますか？ 理由も教えてください。

ア そのままがんばる

イ 何かうその理由をいってやめる

ウ 信頼できる人に相談する

エ 会社の人に正直に話して相談する

オ その他

●ウを選んだ人へ…

●エを選んだ人へ…

あなたにとって信頼できる人は誰ですか？

会社の誰に相談しますか。

問題2 あなたはAさんの友達です。相談されたらどんなアドバイスをしますか。

ア 先に指示書をもらうようにアドバイスする

イ アルバイトをやめた方がいいという

ウ わからない言葉をメモしてあとで調べるようにいう

エ その他

ことば：指示 落ち込む

⑩ いわれてないから・・・

Aさんは5年前に日本にきました。ある会社に入社して、仕事にも慣れてきました。

Aさんの趣味はサッカーです。そして、同じ会社でサッカー好きのBさん、Cさんと仲良くなりました。Aさんは漢字が苦手、ネットでのチケット予約が大変だと話すと、BさんとCさんがAさんの代わりに、チケットをとってくれるようになりました。それからは、いつも3人でサッカーを見に行くようになりました。サッカーの試合に行く度に、BさんとCさんはユニフォームやお揃いのグッズを買っていました。Aさんはグッズなどに興味がなかった、ので、買いませんでした。BさんとCさんは毎回Aさんに応援グッズを貸していました。ある日Aさんは地方の試合に行きたかったのですが、車でないと行けない所でした。すると、Bさんが「じゃあ、私が車を出すから、連れて行ってあげるよ。」といってくれました。3人は車で試合を見に行き、楽しんで帰りました。車から降りるときAさんはBさんに「ありがとう」といって帰りました。次の日、Cさんから「高速代もガソリン代も払わずに帰って、非常識だ」と文句をいわれました。Aさんは「お金を払って」といわれればちゃんと払ったのに、何でいってくれなかったんだろうと不思議に思いました。



ことば：ユニフォーム お揃い グッズ 応援 車を出す 高速 非常識 不思議



こうそくだい き ふつう
高速代はいくらと聞くのが普通でしょう？



はら
いってくれば払ったのに、なぜいわないの？

もんだい
問題1 あなたはAさんが悪いと思いますか。

もんだい
問題2 あなたがAさんだったらこの後どうしますか。

ア あやま かね はら
謝ってお金を払う

イ あやま かね はら
謝らないけどお金を払う

ウ かぞく ともだち そうだん
家族や友達に相談する

エ ほか
その他

かんが
～もっと考えてみよう～

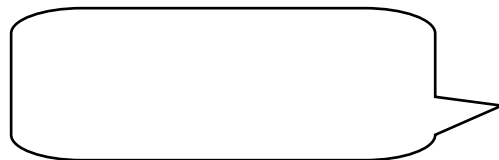
か じぶん か
グッズもいつも貸してるし…。自分で買ってよ！



か
グッズは買いたくないな…。

グッズを^か買いたくない理由を^{りゆう}あなた^{なん}だったらCさんに何といいますか。

- ☐ だってグッズがなくても^{おうえん}応援できるし…
- ☐ お金^{かね}がもったいない…
- ☐ 他^{ほか}の時^{とき}には使^{つか}えないし…



第Ⅱ部

実践報告

入門・初級クラス

実践報告 1 形容詞の導入と短文作成

〔生徒の背景〕 来日して間もない多国籍クラス

〔滞日期間〕 半年以内

〔学年〕 中学生～高校生

目的	形容詞の導入、形容詞文（肯定）を作る。
教材	形容詞リスト【図1】、形容詞カード【図2】、自作プリント【図3】
手順	形容詞リスト【図1】の形容詞の意味を確認する。母国語リストの用意がない言語は、生徒自身が辞書等で調べてリスト表に母国語で意味を書く。母国語のリストがあっても、自分で調べて書かせることもある。 わからない名詞を説明し、リストから形容詞を選んで形容詞文を作らせる【図3】。20問必ずすべて違う形容詞を書くように指示する。書いた文を読ませる。時間があれば、21～40もやらせる。 後日、絵カード【図2】使って、「神経衰弱」「ばばぬき」「絵合わせ」などをして、形容詞を覚えさせる。
生徒の様子と振り返り	リストを渡すと、どの生徒も「思ったよりたくさんある」という印象を受けるようだ（い形容詞：78、な形容詞：27）。英語や仲介になる言葉がわからない生徒に意味を伝えるのは難しいが、母国語を書いて自分だけのリストが作れるので、一生懸命理解して書こうとする。文を作る時は、楽しそうにリストから形容詞を選んでいる。
使い方の注意	☆ポイント ●リストやカードは、「い形容詞」「な形容詞」で色を変える。形容詞導入後の文法を教える時に、この色分けで理解しやすくなる。 ●母国語にない形容詞もあるが、無理にこじつけて書かせずに、なかったら、空白でよい。 ●生徒の能力によって、形容詞の数を調節する。 ●漢字圏の生徒は漢字で書こうとするが、読みを間違えて覚えることが多いので、必ずひらがなで書かせる。 ●リストにない形容詞を足して書いてもよい。 ●「富士山」「梅干し」など、日本で有名な名詞があるので、一緒に覚えてもらおう。 ●カードを使って、覚えられるようにする。

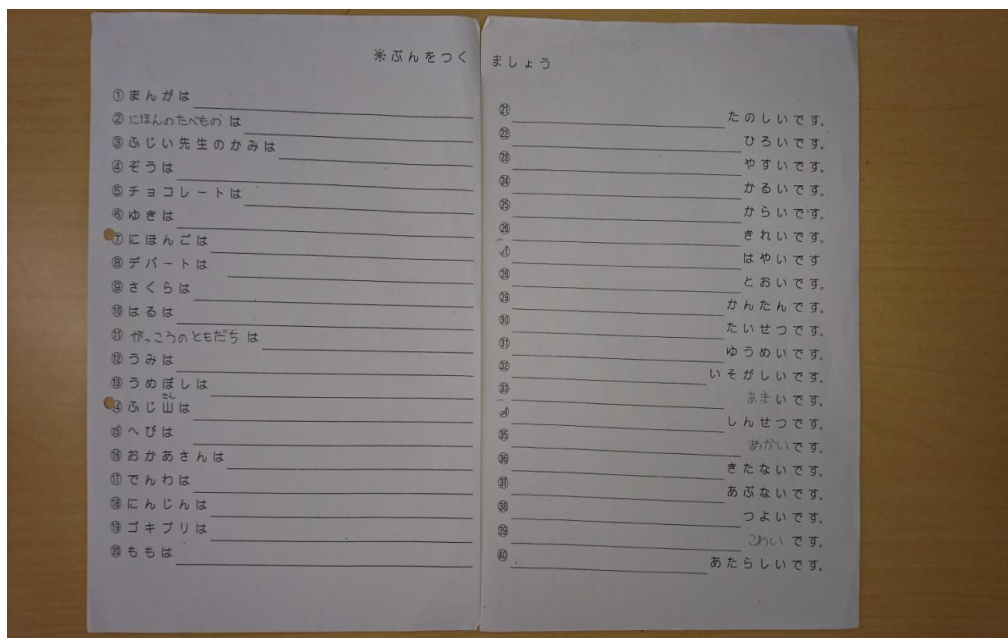
【図1】



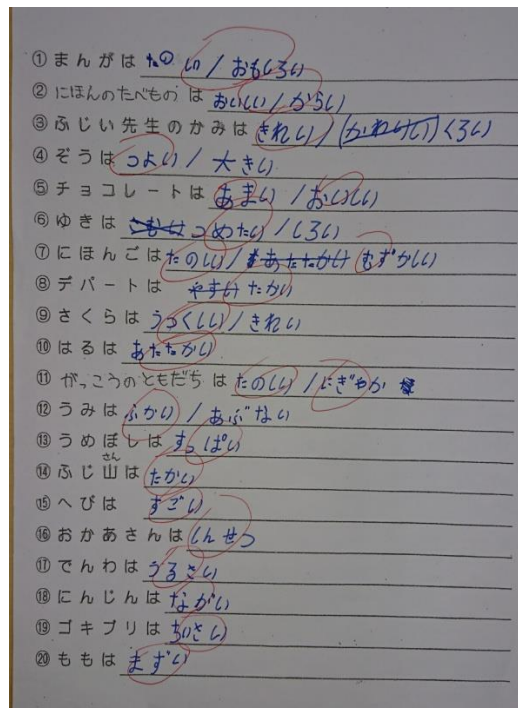
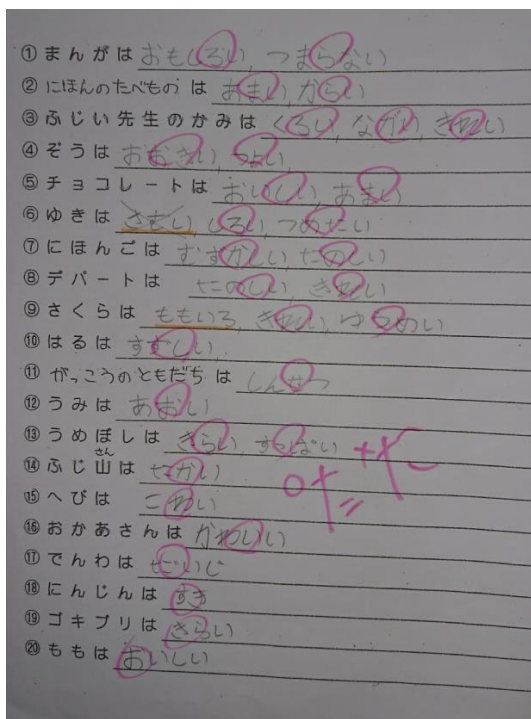
【図2】



【図3】



生徒が書いたプリント

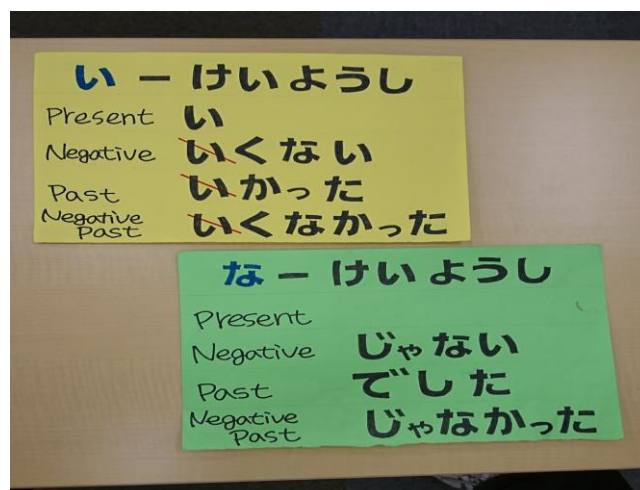


教材について

使っている教材をご覧になって、子どもならまだしも中高生に絵や色は必要ないと思われる方もいらっしゃると思います。年齢に関係なく、絵や色は定着に有効です。見る、触るなど、五感を刺激することが、記憶につながります。

特に外国につながる若者にとって、日本語の文法を日本語で理解することは難しいです。理解しなくても、使うことでわかっていくことがあります。例えば、い形容詞とな形容詞がよくわからなくても、黄色の否定は「～くない」、緑の否定は「～じゃない」と覚えれば、否定形を使うことができます【図4】。不思議なことに、色つきでおぼえた生徒は、色がないう絵カードを見せても、「これは黄色だから い形容詞」と色も思い出すようです。なかなか定着しない生徒に、ぜひ実践してみてください。

図4



実践報告2 ボランティア大学生とのインタビュー活動

〔生徒の背景〕 中学生、高校生、フリースクールの生徒

〔滞日期間〕 2年以内

〔学年〕 おもに中学2年生～高校1年生（6人）

〔ある日の実践〕

目的	大学生にインタビューをする
教材	インタビューシートを作成
手順	ボランティアに来ている大学生に学習者が質問をし、生徒が大学生の答えを日本語でシートに書く。生徒からの質問が終わったら、同じ内容をボランティアの大学生から聞いてもらい、生徒が答える。
生徒の様子と振り返り	初対面の大学生だったので、最初は緊張して話せるか心配だったが質問する内容を把握していたので積極的にインタビューをしている様子だった。わからない字があるときは大学生が手本を書いたり、聞き取れないときは、ゆっくり一文ずつ区切って答えてくれたので生徒たちも楽しそうにしていた。 終わったあとは、同じ質問を大学生にしてもらい、生徒がその質問に答えていた。生徒たちは歳が近い大学生と話すことで、共通点も多く（好きな教科など）盛り上がっていた。
使い方の注意	事前に質問内容を確認して、何を聞いているのかわかるようにする。質問の聞き方を例として記入しているが、違う質問の仕方でもいい。相手に質問をして、その答えがわかるということが目標なので、書き留めるときに漢字がわからなかったり字を間違えていたりしたら、一言声をかけてあげる。

質問のシート

だいがくせい
大学生にインタビュー

1. 名前: _____ さん

2. 大学の名前: _____

3. 住んでいるところ: _____

4. 好きな食べ物: _____

5. 嫌いな食べ物: _____

6. 好きなスポーツ: _____

こうこうせい
高校生のとき

7. 好きだった勉強: _____

8. 嫌いだった勉強: _____

9. 部活(クラブ): _____

10. 楽しかったこと: _____

11. アルバイト: _____

★あいさつ★

1. こんにちは

2. わたしは _____ と言います。

3. よろしくおねがいします。

★質問★

1. お名前はなんですか？／お名前を教えてください。

2. 大学はどこですか？／大学の名前を教えてください。

3. どこに住んでいますか？／住んでいるところを教えてください。

4. 好きな食べ物はなんですか？

5. 嫌いな食べ物はなんですか？

6. 好きなスポーツはなんですか？

7. 高校生のとき、好きだった勉強はなんですか？

8. 高校生のとき、嫌いだった勉強はなんですか？

9. 部活は何でしたか？

10. 楽しかったことは何ですか？

実際に生徒が書いたシートの一部

こうこうせい
高校生のとき

7. 好きだった勉強: おんがく

8. 嫌いだった勉強: リカ

9. 部活(クラブ): ナンズクラブ

10. 楽しかったこと: ぶんかど

11. アルバイト: ~~めん~~はんや

しょうたい

5. 嫌いな食べ物: トマト

6. 好きなスポーツ: サッカー

こうこうせい
高校生のとき

7. 好きだった勉強: たいい

8. 嫌いだった勉強: ずうせき

9. 部活(クラブ): サッカー

10. 楽しかったこと: 友達とあそぶこと

11. アルバイト: ばい・いざみや

5. 嫌いな食べ物: トマト

6. 好きなスポーツ: テニス

こうこうせい
高校生のとき

7. 好きだった勉強: たいい

8. 嫌いだった勉強: ずうせき

9. 部活(クラブ): ダンス

10. 楽しかったこと: ぶんかど

11. アルバイト: してなかった。

—中国語話者への指導—

実践報告 3 受け身文の導入と動詞活用の練習

〔生徒の背景〕 中国語を母語とする生徒

〔滞日期間〕 2 年半、日本語の力：初中級レベル

〔学年〕 高校 1 年生

〔ある日の実践〕

目的	受身文の導入と動詞活用の練習
教材	「学ぼう日本語初級 2」「初級日本語文法要点整理 20 ポイント」
手順	(1)「学ぼう日本語 2」第 30 課を使って、動詞の受身形の作り方や意味の導入をする。 (2)第 30 課に出てきた文法練習や会話練習をしてから練習問題を 解いていく。 (3)一通り「学ぼう日本語初級 2」の問題が解けたら、定着度を測る。 (4)繰り返し練習になるが「初級日本語文法ポイ要点整理 2 0 ポイント」の第 18 課をやってみる。
生徒の様子と振り返り	この生徒は、中学校で初級の基本文法を勉強しました。日本での生活が長いので生活上の日本語はできるが学習用の日本語になると難しいところがあって高校の先生の紹介で CEMLA に来ました。動詞の受身形は生活上ではあまり使わないようため、学習できていないようです。 教室では支援者と一対一の学習スタイルですので、生徒が理解できないときは、ゆっくり説明したり、わかりやすい日本語で解説をしたりしています。会話練習もロールプレー形式ですめています。 中国語話者の生徒にとって日本語の受身形の概念は中国語と一致するところもあれば一致しないところもあるので指導するときには要注意です。 この生徒も母語干渉のため、受身文が作れませんでした。生活上ではだれも指摘してくれなかったのが間違いに気が付かなかったと話していました。
使い方の注意	●「学ぼう日本語」の教材には練習問題や復習問題がたくさんあって中国の生徒には向いています。英語圏の生徒は聞く力に長けているに対して、中国からきた生徒はドリル練習やパターン練習に慣れているので書くことに長けています。練習問題をたくさん解くことによって文法の学習が定着しやすいと思われます。 ●受身文で中国語話者がとくに間違いやすいところがあります。「初級日本語文法要点整理 20 ポイント」より 2 点上げておきます。 (1)体の一部、所有物、関係のあるものがほかからの行為を受けたときの受身文。 例：弟は私の足を踏みました。 (日本語受身文) 私は弟に足を踏まれました。 (中国語受身文) 我的脚被弟弟踩到。 (私の足は弟に踏まれました。)

	★母語の干渉でなかなか正確に受身文が作れないので繰り返し練習が必要です。 (2)被害を受けたり、迷惑だと感じたときの受身文。 中国語にもこのようなタイプの受身文はありますが、一部の動詞はこの受身文に使うと意味が伝わらないので中国語話者にとって理解しにくいので注意する必要があります。 例：父が死んだ。母は苦勞した。 (日本語受身文) 父に死なれて、母は苦勞した。 (中国語直接文型) 父亲死了，母亲很辛苦。 ●読み書きだけではなく会話練習も時間をかけてやります。テキストの会話練習問題から生活の場面に話題を展開していくことは一対一指導形式のメリットでもあります。 ●支援者の問題練習や会話練習は生徒の学習意欲や吸収力を促す効果があると思われます。
--	---

実際に生徒が
書いたシートの一部

問題2 例のように受身文に変えなさい。

例 母はわたしを5時に起こしました。
→わたしは 母に5時に起こされました。

1. 祖母がわたしを育てました。
→わたしは 祖母に育てられました。

2. 山中さんがわたしをパーティーに誘いました。
→わたしは 山中さんにパーティーを誘われました。

2. 知らない人がわたしに声をかけました。
→わたしは 知らない人に声をかけられました。

4. 犬がわたしのくつを持っていきました。
→わたしは 犬にくつを持っていかれました。

5. 電車の中で、隣の人がわたしの足を踏みました。
→わたしは電車の中で 隣の人に足を踏まれました。

6. 先生はわたしの作文をほめました。
→わたしは 先生に作文をほめられました。

7. だれかがわたしの家の前に大きいバイクを止めました。わたしは困りました。
→わたしは家の前に だれかによって大きいバイクを止められ て、困りました。

8. みんながさわぎました。どろぼうは逃げました。
→ みんなにさわがれ て、どろぼうは逃げました。

9. 展覧会をどこで開きますか。
→展覧会は どこで開かれますか。

10. ぶどうからワインを作ります。
→ワインは ぶどうから作られます。

— 110 —

中級クラス

実践報告 4 読解「仕事について考える」

〔生徒の背景〕 高校生

〔滞日期間〕 3 年以内

〔学年〕 高校 2 年生

〔ある日の実践〕

目的	読解 本文を通して「仕事」について考える
教材	『話す・書くにつながる！日本語読解 中級』「3 課 仕事選び」
手順	将来どんな仕事がしたいのか話し合う→仕事についての文章を読む→本文の内容確認問題→確認問題で間違えたところから、筆者の考えとその理由を再度考える。→文章の内容から対話へ発展
生徒の様子と振り返り	文章を見ると、すぐに読む姿勢になり、読むことに積極的な様子を見せた。文章は、2 ページにわたる長い文章だったが、途中で分からない箇所があると下線を引いたりしてしるしをつけたり、支援者に説明を求めた。読んだ後で内容確認問題を行い、分からなかったところ、間違えたところを支援者と一緒に見直した。指示語が示す内容について間違えていたので、「指示語が示しているものは、直前の文章であることが多い」という説明をすると、正解の文章を抜き出すことができた。その後、自分の好きなことを仕事にしたいか、そうではないかについて話をし、本文への理解を深めた。
使い方の注意	まずは自分でどこまで読めるか試させてもいいかと思いますが、読解が苦手な生徒などには、指示語は何を指しているのか、文中の「わたし」とは誰のことなのか、などを確認しながら読むとその後の内容確認がしやすくなるかと思っています。長い文章になると、読むのを諦めてしまったり、読むのを嫌がったりすることもあると思います。生徒のレベルやその時のやる気に合わせて、段落ごとに内容確認をする、読解よりもテーマについて対話することに重点をおいてみる、などしてもいいかと思っています。

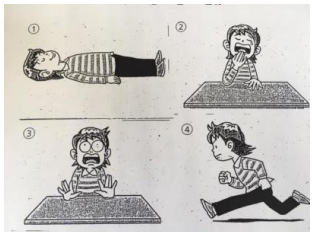
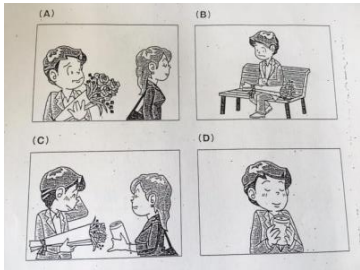
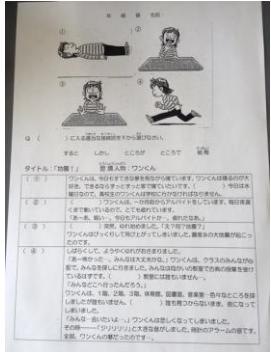
実践報告5 考えたことを整理して、接続詞を使って書く活動

〔生徒の背景〕 フィリピンにつながる生徒。2歳のときに来日。生活の中で日本語の不自由はないが、「書く」ことに苦手意識がある。

〔滞日期間〕 20年

〔学年〕 なし。(中学校卒業後、家事手伝いをしている)

〔ある日の実践〕

目的	考えたことを整理し、適切な接続詞を使って「書く」
教材	石黒圭編『コミュニケーションのためのクラス活動40』スリーエーネットワーク p132, 133 (1)  (2) 
手順	ステップ1 「接続詞」の練習をする。 ① (1) のイラストを提示し、教師が作ったストーリーを読む。 ② () に入る適切な接続詞を考える。 ステップ2 (2)のイラストでストーリーを作る。 ① (2) のイラストを1枚ずつ見て、それぞれどんな場面か想像する。 ② 4枚のイラストの順番を自由に入れ替え、ストーリーを考える。 ③ 考えたストーリーをイラストの場面にそって話す。 ④ 話したことを文章で書く。 ⑤ 文と文の間に適切な接続詞が入っているか注意する。 ⑥ タイトルをつける。 
生徒の様子と振り返り	●話すことは好きなので、口頭ではすぐにいろいろなストーリーを考えられた。しかしいざ文章で書こうと促すと面倒な様子で、とりかかるのに時間がかかった。 ●「そして」という接続詞が多かったので、他に使える接続詞がないか一緒に考えた。 ●男性のイラストに修正を加えて女性として登場させたり、2回出てくる女性を双子の設定にしたり・・・と予想外のアイデアが出てきて盛りあがった。
使い方の注意	①「接続詞」の練習は生徒の日本語レベルに合わせて行ってください。 ②生徒一人で書くことが難しいときは、生徒が話したことを支援者が文章にして書いたり、支援者が生徒の話を口頭で整理して、それを生徒が聞きとって書いてもいいと思います。

	③短い文章には「どうして?」「それから?」など質問をしてふくらませてください。 ④生徒だけがストーリーを考えるのではなく、支援者も考え、それぞれのストーリーをお互いに読んで楽しんでもいいと思います。
--	---

実際に生徒が書いたシート

[生徒が考えたストーリー]

(A)

(B)

(C)

(D)

タイトル: 登場人物:

(A)	男の人の名前はハジメです。ハジメは女の子の名前はユミです。ハジメはユミを待っています。ユミはユミにあげると思ったから、とても喜んでいました。
(B)	その後ユミは来ましたが、昨日もらったコーヒーはハジメに返しました。そして、「私にプレゼントするのをやめて、あなたのことは女子高生から、ハジメはひらくりまて、友にもきこえなかったです。
(C)	ハジメは、とても喜んで、泣きました。彼は夢を覚めた。
(D)	ハジメの肩を叩き替えて、泣くのを止めた。2ヶ月後、彼は再び元気です。

[大学生ボランティアが考えたストーリー]

(A)

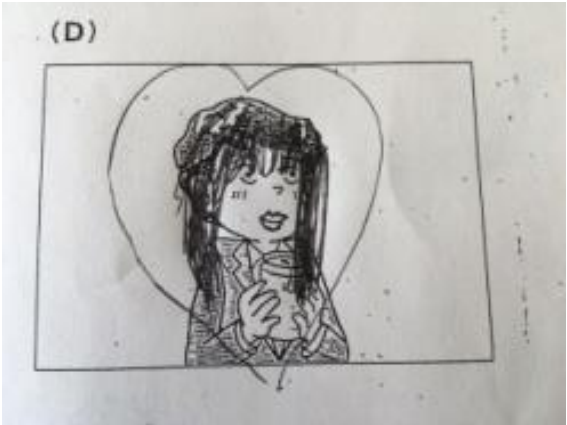
(B)

(C)

(D)

どんな話か	告白
いつ、どこで、誰が...	記念日、公園、カ、フル
イラストの順番	ストーリー
1 (A)	太郎くんが花子さんの記念日を忘れて、代わりに花束を渡していました。しかし、花子さんは黙って受け取っていませんでした。
2 (B)	太郎くんは落ち込んでいました。
3 (C)	でも太郎君はあきらめずに再び花子さんに花束を渡していました。
4 (D)	そして無事に花束を受け取ってもらいました。ほっ、ほっ。

[男→女へ...]



実践報告 6 学校の授業でできなかったことのサポート

〔生徒の背景〕

- ・中学生になるまでホームスクーリングで英語のみを使用していた。
- ・学校では友達と日本語で問題なくコミュニケーションをとっている。
- ・日本語も英語も話せるが、思っていることを書けないことがある。
- ・漢字に苦手意識を持っている。

〔滞日期間〕 日本生まれ

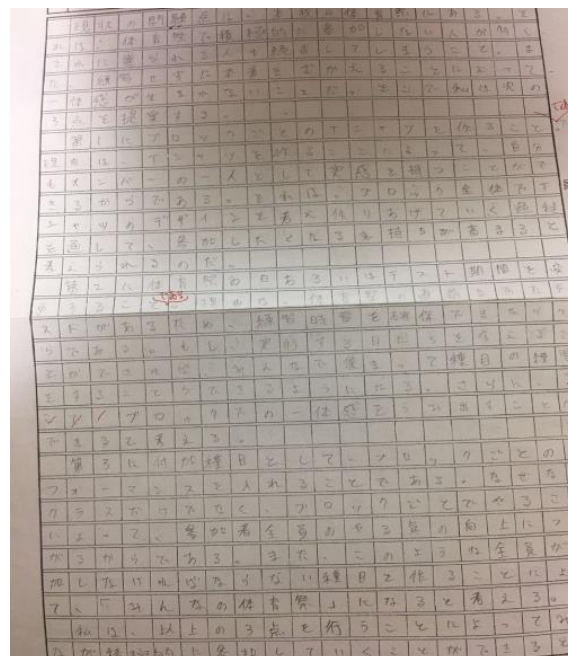
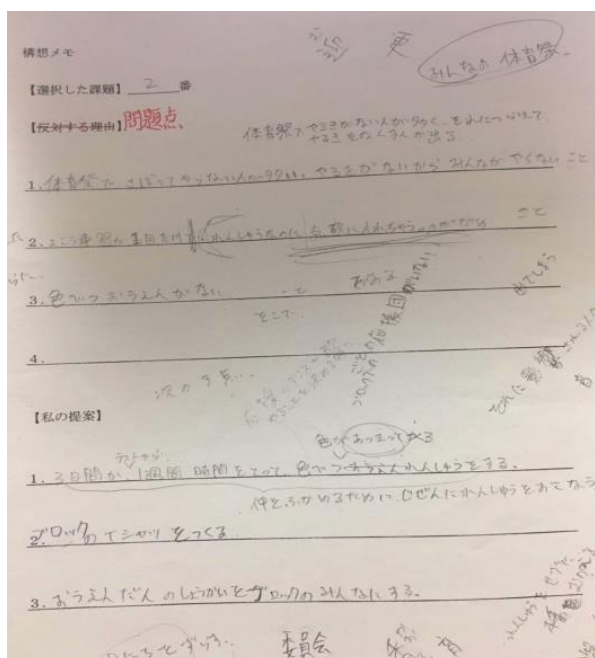
〔学年〕 高校 3 年生

〔ある日の実践〕

目的	学校の授業でできなかったことをする。
教材	生徒の授業時ノート・プリント、辞書
手順	(1)ノートの確認。(これまで何を学んできたのかを確認する) (2)考えていることについて話す。 (3)生徒が話したことを確認しながら、支援者がポイントのみを書き出す。 (4)③で書いたポイントを確認し、ポイントから文を考え、下書きを行う。 (5)ノートを利用して、原稿用紙の使い方や書き言葉の再確認。 (6)文章の構成を考える。
生徒の様子と振り返り	●本人によると学校で小論文の授業を選択しているもののノートを書くのに精一杯になってしまい、授業での先生の説明をうまく聞き取れていないようであった。 ●勉強する前：「結局授業に出ても書き方がわるようにならない！」と諦めようとしている様子があった。 ●勉強している時：指示を理解し、自ら意見を述べようとする ●勉強した後：「書けると思わなかった」と嬉しそうに言う
使い方の注意	ステップ 1 授業担当によって求めるものが違っていたり、注意すべきポイントが違っていたりする場合があるので、指導を行う前に、児童のノートを指導員が素早くチェックしていく必要があります。また、チェックを行いながら、児童が授業の内容をどこまでできたのかをクイズ形式で聞くことができます。 ステップ 2 ●できるだけ生徒の話を聞くように心掛ける必要があります。そのため、自分が生徒と共通する考えを持った時にも、自分の話に夢中にならないようにする必要があります。 ●ここで生徒の日本語を直さないようにします。生徒から意見が出てきたら適度に褒めていく必要があります。生徒の考えを褒めたりすることによって、さらに色々な意見を引き出していくことが可能になります。(意見をできるだけ多く引

	き出します。 ステップ3 あくまでポイントを書くだけです。 ステップ4 正しい日本語を求めるのではなく、書いてあったポイントをどのように文章にするのかを生徒に考えてもらいます。 ステップ5 原稿用紙の使い方、書き言葉と話し言葉の区別を確認します。ステップ4の文章で言葉の誤用があったら、ここで確認していきます。 ステップ6 ステップ4をどのようにつなげるのかを考えてもらいます。起承転結の概念を説明してから、文の全体の構成を考え、書き出してもらいます。
--	---

実際に生徒が書いたシート



中上級クラス

はじめに

ここ2年間、セムラ日本語中上級クラスでは、日本語能力試験N1の学習と共に新聞切り抜きを使った、意見文の読解に焦点を合わせた学習をしてきました。

平成29年1月から、この新聞切り抜きの読解学習の経験を生かして、新聞切り抜きを使った意見文作成に学習目標に移行させました。

学習対象者は、外国に繋がる社会人や高校生です。日本語学習歴は6年から3年程度、地域の日本語教室で学び日常の会話に不自由しない学習者たちです。

日本語能力は問いません、新聞切り抜きの学習に興味のある人なら誰でも受け入れています。予習復習は必要ありません。手ぶらで参加してもらい、帰りのお土産は本人が時間内に理解した日本語です。その活用は、日常生活の中で自発的に生かしてしてほしいと願っています。

学習形態は、1回完結型で行います。次回への参加は促しますが、本人次第です。積み残しや抜け落ちは、次回の学習教材の中で再構成して臨んでいます。

次に、授業準備と展開で心がけていることを書いておきます。

教材の選び方

学習者が日常生活を送る上で欲しいと思う日本語や不可解な表現や難解な事象を学びたいことをすくい上げ、支援者も毎日の生活の中から考察を重ね積み上げている知識やメディア情報を学習者の希望に重ねながら選んでいます。

設問の準備

これは学習意図に沿って、できるだけ多くの質問を準備しておきましょう。学習のねらいを考えた設問の整合性や、設問の順番や方向性にあまり神経質になる必要はないでしょう。

ふとした思いつきから生まれた気ままな質問は、支援者や学習者自身が未だ気づかれていない興味・関心を引き出すことがあります。そして、設問の隙間は生徒の余計な緊張や学習展開のゆとりを生み出すためにむしろ必要と考えています。

学習展開

セムラ日本語中上級グループでは 120 分を 1 回分の目安として授業展開しています。実際の学習に当たっては、学習者との瞬間、瞬間の勝負、一期一会を念頭に置いて行います。

また、学習者や支援者の微妙な体調や日時など配慮して授業展開することが大切です。教材選びや設問の準備に過剰な気合を入れてくると、学習者の学習密度の濃さを要求してしまい、学習者の了解範囲を超えてしまいがちです。そうならないように新鮮な毎日の出会いを大切にしていこうようにすることが大切だと思います。

学習構成

- ①動機付け＝頭の準備体操
- ②参考資料＝新聞切り抜きへの質問
- ③本日の話題から学習者の課題（テーマ）を見つけ出すための誘導的な質問。
- ④意見文の 3 段構成に従った同意。了解的な問いかけとメモ書き、述べて終わる。
- ⑤作文過程での記述内容の確認的問いかけと原稿書き。
- ⑥完成した意見文の読みと学習者が本日の学習で得たものを聞く。
- ⑦支援者から見た、学習者の成果、良かったところを述べ、次回の課題と再会を述べて終わる。



授業の風景

実践報告7 新聞切り抜き活用 意見文作成 ①

学習参加者 2名

A君 フィリピンにつながる20代の青年 日本語のレベルアップのため参加している。

B君 ペルーにつながる20代の青年 専門学校入学準備のため参加している。

〔ある日の実践〕

導入	挨拶について（話題）
目的	あなたが考えたことを書いてみよう。
教材	朝日新聞 2016年10月19日（水）付 オピニオン欄 どう思いますか「あいさつをしない子どもたち」 5名の読者「声」と識者のコメンテーターSさん
設問	A はじめになぜ挨拶が必要なのかとその基本的な意義を考えてみよう 1) 挨拶はいつするものですか。 2) 挨拶はなぜ必要なのですか。
学習展開	挨拶の概念を、以下の文章を読んで考えてみましょう。 (挨拶の意義について学習するのが目的ではないので、さっと読んで、だいたいの理解にとどめましょう。)
学習構成	人間同士が何らかの目的で顔を合わせる場合、すぐにその目的に関する話題を始めることはまずない。最初に互いの姿を確認した際、言葉や身振り、あるいはその両方で互いに相手の存在を認めたとわかる行動をする（目を合わせ、手を挙げる、「やあ」と言うなど）。 さらに接近して話し始める際も、特定の動作や言葉で互いに話し始める。これらの一連の行動が挨拶である。また、本題に入る前に互いに関する情報や天候や前後の無関係なやり取りなどをするのが普通で、これも挨拶に含めることもある。 なお、たまたま顔を合わせた知り合いのような場合には、挨拶だけの話が終わることもままある。 話題が終わって別れる場合にも一定の決まったやり取りが行われ、これも挨拶である。普通は別れの挨拶の方が短い。動作がともなう場合、出会いの挨拶と同じものが使われることがよくあるが、異なった挨拶も見られる。 さらに、ひとつの状態に入る前や終わった段階で、歓迎の言葉やこれからの心がけなどについて話すことも挨拶とすることがある。卒業式や入社式に偉い人が行う挨拶はこの例である。(Wikipedia より) B 次にあなたの挨拶に対する考えを聞きます。 1) あなたが一番はじめに覚えた日本語の挨拶を教えてください。 2) あなたは誰にでもよく挨拶をしますか。それは、どうしてですか。 3) あなたが、挨拶をしなければならないときに、一番気をつけていることを教えてください。

	4) 挨拶をするとき、あなたは、声や表情につて気を配っていますか。 5) 日本の挨拶とあなたの国での挨拶の違いや特徴を教えてください。 C 書けるかな。 1) ここまで学習して、あなたは、挨拶を話題にして、書きたいことが浮かんできましたか。 2) 意見文作成メモ 書くことが、浮かんできたら、その要旨（言いたいことのあらまし）とその意見を補強する体験例や調べたり、聞いたりしたことのそのポイントを書いてください。 D 意見文の参考例として別紙の5人の「声」と一人専門家のコメントを読んで、質問に答えてみましょう。 1) Fさんの声（要旨）には、あいさつしない子どもたちが3例挙げられています。3つの事例に対するあなたの感想を述べてください。 2) Kさんは、なぜ子どもがすごい態度に出るのは護身のためだから仕方がないと述べているのですか。 3) Oさんは、近所で偶然出会った人にも挨拶するのは当たり前だ、と考えるのですか。 4) Aさんの知らない人から挨拶をされる側の一つの意見として、どのように述べていますか。 5) Mさんの意見は、子供の護身のために知らない人からの挨拶には関わらない方がよいという一般見識と真逆な意見なのですが、Mさんの意見に対するあなたの意見を教えてください。 6) Sさんが述べているあいさつの効能は何ですか。 7) あなたがあいさつについて書くとしたら、大人の立場に近いですか、それとも、児童の側ですか。あるいは、他の違う立場ですか。 8) Cで挨拶について書こうとしたことの課題・意見を深めるのに役立ちましたか。あるいは、違った書くアイデアが浮かんできましたか。 E あなたの意見文の構成を再び考えてみましょう。 1) 挨拶を話題にして書くとしたら、あなたが日常に行なっている挨拶からエピソードをあげて、それに対するあなたの意見を書くというのが一番いいかもしれませんね。 2) 日本での一般常識やとして考えられている挨拶の仕方や捉え方を取り上げて、あなたの意見を補強するのもいいでしょう。 3) 序論 話題 挨拶 本論 あなたの観察した日本人の挨拶
--	---

	あなたが日本人から受けた挨拶やあなたの挨拶を日本人が受け取った時の反応など あなたの挨拶の仕方とその捉え方など 結論 あなたの挨拶の捉え方と挨拶の実践 4) あなたの挨拶に対する意見を書いてみましょう。 5) あなたの意見文を読んで、感想を教えてください。 F 本日の学習であなたが学んで得をしたこと、良かったこと、疑問点などを教えてください。
生徒の様子と振り返り	実践メモから A 君は、人懐こい青年であるが、人見知りなところがあるが、日常会話には同世代の日本人と遜色がない。 A 君の発言や新聞切り抜きの発言から 日本人は謙遜家で「あんた、イケメンね」と言われた時、フィリピン人と違って自分のことは控えめに言う。 相手を不愉快にさせないように心配りをしている 新聞切り抜きを読んでから 挨拶は知っているもの同士で行うもので、知らない人に声をかけられても、どうしたらいいのか、よくわからない。 挨拶をしない子どもも子どもなりの自己護身で仕方がない。 挨拶は当たり前で、それ以上考えるのは難しい。 人との信頼関係を築くには、挨拶は必要。 子どものうちは無理強いしない。 心のこもった挨拶はその人の印象を良くさせる。絆作りにつながる。 A 君には、新聞切り抜き「声」から自分の意見文を書く直接の題材にはならなかったが、「あいさつは最初のコミュニケーションの第一歩だ」という意見を本日の学習から意見文を書く話題に据えた。本日のやり取りの中から、今朝の家族の挨拶を具体的に拾い上げて、それを内容（本論）とした。結論は新聞切り抜きから学んだ「あいさつは絆作りのはじまり」を結論にした。 B 君は、途中意見文構成のところから参加した。 B 君とは「あいさつはよろしくという気持ちをあらわす。」という彼の意見を具体的にアルバイト先で行っているあいさつを追いながら、書いた。「日本の習慣・職場・仲間・上司・交わす・切り換える」など書きことばの確認をしながら意見文に仕上げた。

実践報告 8 新聞切り抜き活用 意見文作成 ②

学習参加者 1名

C君 パキスタンから3年前来日した高校2年生、意見文作成、意見発表に興味があり参加している。C君は、探究心が強く、積極的に質問を重ね、将来の進路のことも前向きに意欲的に取り組んでいる生徒である。

〔ある日の実践〕

導入 目的	日本語上級学習グループでは、新聞の切り抜きを使った意見文の読解を中心に」据えて、実用日本語の学習をしてきましたが、先週からは、意見文作成を中心にした学習に移っています。 本日は、はじめに、意見文作成の学習をする前にあなたがすでに知っている日本語の知識を矢継ぎ早に質問して、あなたの頭を揉みほぐしていきます。あまり深く考えないで答えてください。ポンポンと即答を繰り返すことで、あなたの頭をマッサージしてあげて、あなたのやる気を盛り上げましょう。
教材	朝日新聞 2017年1月6日（金）付 読者の「声」
設問 学習 展開 学習 構成	A 思いつくままにあなたの知っている日本語に関する質問を並べます。あまり深く考えないで、リズミカルに、気軽に答えてください。 話しことば 1) 朝起きてから、誰かと交わした言葉を思い出して、教えてください。 2) 朝起きてから、何かにした言葉を思い出して、教えてください。 3) 朝起きてから、テレビなどメディアから耳に入った言葉を思い出して、教えてください。 4) 何か考え事をするときには、母語か日本語か、どちらが先に頭に浮かびますか。 5) 悲しかったり嬉しかったりしたときには、母語か日本語か、どちらが先に口をつきますか。 6) 悲しかったり嬉しかったりしたとき、日本語でうまくあなたの気持ちを言い表すことができますか。 書きことば 7) 昨日、あなたが書いた漢字、アルファベットなど書いた文字を教えてください。 8) 本日の行動予定を確認するとき、日本語ですか、母語ですか。 9) あなたは手帳やカレンダーに予定を書きますか。 10) あなたの一番好きな言葉を教えてください。 学習言語 11) 昨日、学校で、学んだことで、一番面白かったことを教えてください。 12) 昨日、学校で、友達と話したことで、一番面白かったことを教えてください。

	1 3) 昨日、学校で、あなたがしゃべったことで、よかったなと思ったことを教えてください。 1 4) 昨日、学校で、読んだ本や教科書の名前を教えてください。 1 5) 昨日、学校で、学んだこと、分かったことを教えてください。 意見文作成 1 6) 日本語学習で一番困っていることはなんですか。 1 7) あなたの困っている日本語を改善させる方法がありますか。 1 8) なぜ、あなたは日本語を学んでいるのですか。 1 9) 日本語で意見文を書いてみたいと思いませんか。 2 0) その意見文とはどのような文章だと思いますか。 B 右の新聞切り抜き「声」を読んで、質問に答えてください。 1) Kさんの意見(思い)はなんですか。 2) Kさんの意見に対して、あなたの感想を教えてください。 3) あなたの学校の外国につながる生徒や留学生のことについて教えてください。 4) あなたの日本で学ぶ目的について教えてください。 C あなたの高校生活について400字にまとめてみましょう。 あなたの学校生活をふり返り、あなたの将来について述べてください。 1) 3段落構成メモしてください。 ① 私とは誰か。(序論) ② 私はいまだどのような生活を送っているか。(その理由も) ③ どのような将来の夢(仕事、職業)を持っているのか。 2) 構成メモを参考にして、400字意見文作成に挑戦してみましょう。 3) 完成した意見文を読んで、あなたの感想を聞かせてください。 D 最後に、本日の学習で学んで得したこと良かったこと、疑問点などなんでも話してください。次回の学習の改善に役立てたいと思います。
生徒の様子と振り返り	実践メモから C君は、母語のウルドゥー語も英語も日本語も他人とのコミュニケーションのために必要であり、日本語の語彙も自分の意見を伝えたい、将来の人生に役立てるために獲得しているという顕著な自覚を持っている。 好きな言葉は「ワクトビナラヘーガ＝この時間もいつか終わる」と即答したり、「日本語を知ったとしても損はしない。いろんな人と関わっていたい。」と述べたりする。 「日記を書くのと違い、誰かに、自分の意見をしゃべりたい」と意見文を書きたいと積極的な姿勢を見せる。

新聞切り抜きの K さんの「世界の国の平和に貢献できる仕事に就きたい」という意見に賛同し、motivational speaker になりたいそうだ。

作文は「将来の夢」を書くとして構想を考えたが、「私＝書き手」とは、一般の地球人、今の生活は後悔のないように生きていることを具体的に書き、将来は、他人に希望を与える人、金持ちになりたい、知識のいっぱい持っている人、精神も身体も清い人と彼の知っている言葉を色々並べてくれた。

科目名	第	課題	学籍番号	氏名
私の高校生活				
私は三年前に親の仕事の関係で日本に来ました。今の高校の三年生です。				
土日の朝六時から九時までロンドンでアルバイトをしています。自転車で、家から十五分の所へ行きます。朝早い空気がおいしい。走るのが好きです。生きこいてすばらしいと感じます。				
学校で学ぶ現代文が一番好きです。漱石の『こころ』の中で、私とヒロキのお嬢さんとの三角関係を描いて展開される心の葛藤に心打たれました。				
私は将来人に希望を与えられ、周りの人の力になれる国際人になりたいと考えています。Kのバの高級のうら側にある友情や信頼が持てるような大人になりたい。				
また、私は私の国のパキスタンに主にパンジヤブ、バングラデシュ、インド人など多民族国家です。民族同士が信頼と愛情を大いに生きていることは困難ですが、無視する				

(第) (頁)
 これはでませし、私はそれを実現させていく国際人になりたいと思ひます。

授業風景から



実践報告 9 新聞切り抜き活用 意見文作成 ③

学習参加者 1名

C君 パキスタンから3年前来日した高校2年生、意見文作成、意見発表に興味があり参加している。C君は、探究心が強く、積極的に質問を重ね、将来の進路のことも前向きに意欲的に取り組んでいる生徒である。

〔ある日の実践〕

導入 目的	自分の感じていること、考えたこと、思っていること、読み手に伝わる上手な日本語で書きたいですね。上手に書くための方法をみなさんと探りながら、いろいろなことや話題を取り上げながら、学習していきましょう。みなさんの将来の仕事や希望、生き方を見据えながら意見文に挑戦していきましょう。そのために、セムラでは、みなさんの要望をくみ上げながら、みなさんと一緒になって学習を重ねていきます。
教材	朝日新聞 2017年1月26日(木)付 読者の「声」 朝日新聞 2017年2月1日(水)付 読者の「声」 朝日新聞 2017年2月2日(木)付 読者の「声」 朝日新聞 2017年2月3日(金)付 読者の「声」
設問 学習 展開 学習 構成	A 今回はあなたの日本語学習についての意見文を書いてみましょう。 はじめに、なぜ、結構しんどい作業である意見文を作成する必要があるのか。以下の質問に答える形式で考えていきましょう。頭の準備体操です。あまり考えすぎないで、思いついたことを述べてください。 基本姿勢の質問です。 1) あなたは、なぜ日本語を書く必要が生じると考えますか。 2) あなたは、日本語作文に対して尻込みしてしまうことがありますか。その原因も答えてください。3) あなたは、なぜ自分の気持ちや思いを書きたいと思うことがあると思いますか。 4) あなたの言語生活を豊かにするために、テレビのニュースなどを見たり、新聞を読んだり、ネットで調べたり、図書館で本を借りて読んだりしていると思います。そのおかげで、言語生活にどのような変化が生まれてきましたか。 5) あなたの文章力を鍛えることと、あなたが、これから日本で働くことには、どのような関連があると思いますか。その理由も答えてください。 6) あなたがこれから生活していくことになる日本の市民社会や会社組織、仕事の現場では、どのような形式の文章を書くことになると思いますか。

書く話題を決める前の質問です。

- 1) あなたは、日本語をどのような場所や場面で書いたことがありますか。
- 2) あなたは、日本語で手紙を書いたことがありますか。誰に書きましたか。
- 3) あなたは、日本語で試験を受けたことがありますか。どんな試験ですか。
- 4) あなたは、入国管理局に出向き、日本語を使用して、書類を作成したことがありますか。そこでどんなことを書かねばならなかったですか。
- 5) あなたは、日本語で自由作文をしたことがありますか。それは、どんな内容でしたか。
- 6) あなたは、日本語で読書感想文を書いたことがありますか。
- 7) あなたは、何か問題を起こしてしまって、始末書を書いたことがありますか。
- 8) あなたは、SNS で日本語を使っていますか。
- 9) あなたは、日本語を話すことが得意ですか。
- 10) あなたは、日本語を書くときに一番注意して書いていることを教えてください。
- 11) あなたが、学校で先生に手紙を書くとして、それはどんな時だと考えますか。
- 12) あなたは、日本の友達を作りたいと考えたとして、どんな内容の文章を書く必要があると思いますか。
- 13) あなたは、愛の告白を日本語でしなくてははいけません。どんなことを書いたらいいと思いますか。
- 14) あなたの国や日本、世界で起きている事件や世界の問題について考え、意見を述べたいと思いますか。

次に書き方の質問です。

- 1) あなたは、どのように書けば、相手に伝わる文章になると考えていますか。
- 2) 例えば、あなたが経験している日本の学校やアルバイト先、住んでいる地域の生活でいいなって感じたことや疑問に思っていることを踏まえて、あなたの新しい提案をしたいと考えています。その提案を文章にするためにはどのような準備をしなくてはいけないと考えていますか。
- 3) 例えば、意見文の話題に「トランプ米大統領就任演説」選んでいるとします。どのようなことを考えておくといいのか考えて見ましょう。
 - ①あなたの国の大統領（首相）を教えてください。
 - ②政治家という言葉からくるイメージを教えてください。
 - ③国家とサイバーテロという言葉からくるイメージを教えてください。
 - ④生活と政治という言葉からくるイメージを教えてください。
 - ⑤国家と政治という言葉からくるイメージを教えてください。
 - ⑥貧困と施策という言葉からくるイメージを教えてください。
 - ⑦テロと内戦と国際政治という言葉からくるイメージを教えてください。
 - ⑧国連と核戦争と平和という言葉からくるイメージを教えてください。
 - ⑨移民と難民という言葉からくるイメージを教えてください。

⑩貿易と為替相場という言葉からくるイメージを教えてください。

B 盛りだくさんですが、最後に別添の新聞切り抜き4人の「声」に耳傾けて見ましょう。

1) Aさんの意見文を3段落構成に分解して読み取って見ましょう。

序論 渥美さんが、読み取ったトランプ米大統領の主張を教えてください。

本論 ①そのトランプ米大統領の就任演説に対してAさんの反論を教えてください。

②Aさんの反論の米大統領に対する思いを教えてください。

③Aさんの考えるトランプ米大統領に求める視野と取るべき道を教えてください。

結論 Aさんは、世界政治における米国に求める正義をどのように述べていますか。

2) Yさんの意見を教えてください。

3) Nさんのトランプ大統領に対する願いを教えてください。

4) Hさんの学びたいことを教えてください。

やっと、本日の意見文作成にきました。

1) 本日は、日本語のための基本的な質問に答えたり、日本で働き生活したい思いを述べたり、そして、今話題のトランプ米大統領の発言や動きに対する「声」を読んだりしてきました。その学習の中で、あなたが意見文を書いて見たい、書けるかなと思う話題を出来るだけ多くここに拾い出して見ましょう。

2) 書きたい、深く考えたい話題が大変多く書き出されましたが、その中から1つの話題で、1つの意見とその具体例と構成される3段落構成の400字意見文作成を行います。

序論 話題（大きく捕らえられた話題よりも、少し細分化されたものを選びましょう。

本論 自分の体験談やそこで得た情報とその分析を行います。

結論 自分の意見が読者に良く伝わるようにまとめましょう。

C やっと本日の学習目的の意見文作成にきました。3段落構成メモに基づいて、原稿用紙に向かって見ましょう。

D 学習の最後に、本日の学習で得たもの、楽しかったことを教えてください。
これで、本日の学習を終わります。

実践メモから

入国管理局に父と行き、弁護士もいたが、父を助けた。学校でケンカをした時、反省文を書いた。もっと日本人ぽく、しゃべりたいとも言う。

新聞切り抜きは、トランプ米大統領就任演説に対する「声」3件と高校生の声、「文化としての言語学を学びたい」を読んで、意見文は、高校生堀内君の文化としての言語学を「文化としての日本語」を学びたいに置き換えてまとめることにした。矢継ぎ早の質問に即答することに戸惑いを感じることなく、楽しんで取り組めた。

支援者と協働して意見文の構想を練り、書き上げたことが楽しかったとそうだ。

科目名	花子と日本の語学	第	課題	学級番号	氏名
今日までには日本語を語言として学んできた。国際交流ラウンジ、クラスメイト、アルバイトの人、コンビニのお客さんなど、さらに書かれて、必死に道具としての日本語を習得してきました。 最初のガソリンスタンドでのバイトでお客さんからフロスや糞まいたのがよくわからなくて、そばにいた従業員に聞いて、フロスをお客さんに渡すことができた。まづまだ悪い出が懐しい。しかし最近テレビなど、バリアリトランフ大統領の報道が目につく。 それを見るとネガティブなことしか思いつかない。前向きな姿勢で世界に貢献する意義を、そのためには、大学で政治、経済、社会、教育について学ぶ必要がある。 まづは道徳としての日本語の話し言葉から文化としての日本語の書き言葉に重点を置いて日本語学習をしていきたいと思っています。 今その少し学習として新聞切り抜き活用し、表現文作法の学習をゼムラビとしていきます。					
(第 1)					

学習参加者 1 名

〔ある日の実践〕

70

	1 0) あなたは日々の感想や行動の記録(日記)を何語で書きますか。 話し言葉についての質問です。 1) あなたが、最初に発したと思う言葉を教えてください。 2) あなたは、誰の声が一番好きですか。 3) いま、あなたの耳に残っている一番印象的な日本語を教えてください。 4) あなたは自分の声が好きですか。どこが好きですか。 5) あなたは、テレビではどんな番組が好きですか。 6) あなたの好きな歌手とその人の歌を教えてください。 7) あなたは、話していることが社交儀礼なのか、本題なのかどこで判断しますか。 8) あなたは、相手が本音で話しているのか、あなたに合わせているのかどこでわかりますか。 9) あなたは、1対1で話すのとグループで話すのとどちらが好きですか。 1 0) あなたは、人の話を聞くのと自分が喋るのとどちらが好きですか。 B 意見文を書く前の質問です。 1) あなたは、日本語で何か文章を書いたことがありますよね。 2) 今までに書いてきた文章とセムラで学習している意見文作成との違いはなんだと思いますか 3) 公と私の意味の違いを教えてください。 4) では、意見文では公と私のどちらの部分が大きいと考えますか。 5) あなたはお話好きですか。それは、どうしてですか。 6) あなたは、公の場で何か話したことが、ありますか。 7) あなたは、「公」に向かってどのような意見文を書きたいですか。 8) 読み手に自分の意見文を喜んで読んでもらうためには、どのような準備をする必要があると考えますか。 9) 新聞の使命はなんだと考えますか。 1 0) 公器である新聞に自分(私)の意見を書く意義を教えてください。 C 探求人になるための質問です。 1) 地球は生きていますと言われていますが、生きている地球を思い描いて、生きている地球を述べてください。 2) 世の中の動きで、今、一番、関心のあることを教えてください。 3) 新聞の紙面は、政治、経済、社会、生活、教育、芸術、スポーツ、娯楽などすべて人間の営為で埋め尽くされています。あなたは、その中で何に一番関心がありますか。 4) あなたは、今、何者ですか。 5) あなたの将来の夢を教えてください。 6) あなたは、他人の意見に同調しやすいタイプですか、それとも、しばしば、他人
--	---

	から 浮き上がるタイプの性格ですか。 7) あなたは、相手の気持ちを大切にするタイプですか、それとも、自分の思いを一途に 伝えたいタイプですか。 8) あなたは、テレビのニュースを見る時は、どこに一番、注目しますか。 9) あなたは、映画を見る時は、どこに一番、注目しますか。 10) あなたは小説を読む時は、どこに一番、注目しますか。 11) あなたは、新聞の切り抜き「声」を読む時は、どこに一番、注目しますか。 D 別添の資料、新聞切り抜き、2人の「声」を読んで、質問に答えてください。 1) Tさんの話題はなんですか。 2) Tさんの2件の辛い経験を教えてください。 3) Tさんの進路を教えてください。 4) Tさんの心の痛みと思いを教えてください。 5) あなたのTさんの「声」の感想を教えてください。 6) SさんとTさんの同じような境遇を述べてください。 7) Sさんの学びの足跡を述べてください。 8) Sさんの公（政策提言）への発言を教えてください。 9) Sさんの田中さんへのアドバイスを教えてください。 10) あなたのSさんの意見文に対する感想を述べてください。 C 本日の400字意見文を書くための質問です。 1) あなたの夢をできるだけたくさんあげてください。前の学習であなたが述べたものも教えてください。 2) 具体的な仕事をあげて、あなたの夢を述べてください。夢が本当に実現できるのかどうかは 考える必要はありません。 3) 自分がやれるかどうかは別にして、あなたの希望の仕事に就くためにはどのような準備をしなくてはならないのか教えてください。 4) あなたの夢が生まれてきたもとがあると思いますが、教えてください。 5) あなたの夢のお手本を教えてください。 6) あなたはどのような人になりたいですか。あなたが夢見ている仕事で成功するために必要な ことを考えて、教えてください。 7) あなたの夢と社会の接点を教えてください。 8) あなたは、どのような社会人になりたいですか。 9) あなたの近々の進路（進学）希望を述べてください。 10) あなたの夢を「声」（意見文）にすることはあなたの夢を実現させるための応援
--	--

	歌になります。現実社会への一つの働きかけでもあります。あなたは、どのような考えを持っていますか。 D では、意見文構想に入りましょう。今回は教室からの提案に沿って構想してみましょう。 序論 あなたの立ち位置を考えましょう。何者からの発言か。将来の夢は何か。職業、氏名、住所、年齢は本文の前に書かれますので、ここでは考えません。 本論 ① あなたの将来の夢が生まれてきたあなたの歩みを振り返ってみましょう。 ② あなたの夢を実現させるためには、どのような課題がありますか。 結論 あなたが、あなた自身による、あなたの夢の応援歌を書いてみましょう。 E さあ、構想メモを頼りに原稿用紙のマス目を日本語で埋めていきましょう。 F あなたの意見文を声に出して読んでみましょう。そして、本日の学習でためになったことを述べてください。 本日は120分構想の学習案で、あなたを質問せめにして、ゆっくり考えてもらう時間を入れていませんでした。疲れたでしょう。いろんな疑問点があると思いますが、来週の学習のはじめに質問をしてください。お疲れ様でした。
生徒の様子と振り返り	実践メモから 今前回とダブル質問内容もあったが、意見文構想を考える前の70項目の質問に答える作業を行ったが、昨夜の睡眠不足にもかかわらず、集中して答えることができた。新聞切り抜きは、 日本の大学進学支援の問題を取り上げた「声」だったが、困難な事情を抱えながらも進学を 考えている同年代の高校生に共感を示し、自分の意見文作成と通奏低音とすることができて 前回に続き、支援者と協働して書き上げることができた。

[illegible]

実践報告 11 新聞切り抜き活用 意見文作成 ⑤

学習参加者 1名

C 君 パキスタンから3年前来日した高校2年生、意見文作成、意見発表に興味があり参加している。C 君は、探究心が強く、積極的に質問を重ね、将来の進路のことも前向きに意欲的に取り組んでいる生徒である。

〔ある日の実践〕

導入 目的	前回までに、外国につながる生徒の日本語学習をめぐっての矢継ぎ早な質問に答えてもらったり、新聞切り抜き「声」の中から経済的事情で進路変更した高校生の思いとその「声」に応援歌を書いた69歳の「悔しさをバネに夢諦めないで」やトランプ米大統領の就任演説に対する意見など読んだりして、あなたの将来の夢についての400字意見文を書いてきました。 本日の目標は、今年度セムラスクール最終回の日に予定している、「私のセムラ」と題したスピーチの原稿書です。
教材	朝日新聞 2017年2月9日（木）付 教育欄 いま 子どもたちは no.1230 朝日新聞 2017年2月11日（土）付 オピニオン欄 若い世代はこう思う「受験」 朝日新聞 2017年2月12日（日）付 読者の「声」

	朝日新聞 2017年2月14日(火)付 天声人語 朝日新聞 2017年2月19日(日)付 読書欄 悩んで読むか読んで悩むか
設問	本日は、新聞切り抜きを読んで意見文を考えるための頭の柔軟体操をします。さりと読み流して、日本語学習、自分の立ち位置、受験、大学進学支援問題を取り上げた新聞切り抜きを読みます。
学習展開	4種類の新聞切り抜き 1) はじめに外国につながる児童の現場(今)として愛知県知立東小学校が取り上げられている新聞切り抜きを読みます。
学習構成	2) 今、日本では、さまざまな学校や大学入試の真っ最中です。その受験に対する5人の若い人の意見と2人の大人の「声」を読みます。 3) 2月11日の学習で取り上げた「お金払えず進学断念」の声に呼応して書かれた2月14日付の天声人語を読みます。その天声人語氏の教育支援政策に対する考え方と意見を読み取ってみましょう。 4) 2月19日付新聞切り抜き「悩み」で高校生の進学の悩みにたいして、荻上チキさんが漫画「上京ものがたり」薦めながら、相談者の悩みに答えた記事を読みます。 宿題 「上京ものがたり」を読んで400字感想文を書く。 新聞切り抜き学習で注意したいことは、意見文読解の深読みに落ち込まないようにしましょう。あなたのセムラでの学習を振り返るための日本語準備体操だと考えて読み飛ばしていきましょう。 意見文「声」から少し間口を広げた新聞切り抜きを走り読みしながら、頭をほぐしてきました。記事の細部にあまりこだわらないで、記事の書き方の違いや取り上げられている話題のだいたいの理解に留めておきましょう。 では、スピーチ構想に行きましょう あなたの立ち位置からあなたが今年度セムラで学んだこと、来年度のセムラ学習目標を述べ、今後もそれぞれの目標に向かって学びの仲間でありましょうと結ぶ構想のスピーチを考えましょう。 構想 1) セムラ2年目、今年度もあなたは、いろいろな学習をしてきました。何を学んだのか。細かくそのことをここに書き出してみましょう。 2) どこでスピーチする? 今年度セムラスクール終了会で「私のセムラ」と題してスピーチをしますが、選ばれてのスピーチですから、代表的な性格が入ります。

	3) ねらい 聴衆（セムラの仲間）があなたのスピーチを聞いて、それぞれに今年度を振りかえり、その成果をまとめ、来年度のセムラでの学習につながる励まし合いになるようにする。 4) ピーチの場所やねらいのおおまかな枠組みの中で、あなたの今年度の学習成果と感想とあなたの意見を述べることで、あなたのスピーチが聞く人に深い感銘を与えるようにスピーチの内容や構成の工夫をしてみましょう。 5) 3段落構成 はじめ なか しめ 6) さあ、原稿用紙のマス目を800字で埋めましょう。 7) てんこ盛り学習でした。疲れたでしょう。最後に、本日の学習で得たものと、あなたの今後の学習課題を教えてください。																																																																																																																																																																																																																																																																														
生徒の様子と振り返り	実践メモから 今回は C 君の新聞切り抜き記事の読解力を生かして、意見文作成のウォーミングアップとして、速読をした。分量も多く、切り抜きの枠組み「学ぶ者」と言う共通視点から走り読みをしたが C 君は、たくさんの分量の記事を、集中力を切らさないで読み切った。支援者の切り抜き記事の補足説明は極力避けた。 この意見文作成の最終的なまとめとして、今年度のセムラ支援学習教室の最終日の交流会で学習者代表として終わりの挨拶にすることにした。 C 君の学習目標である意見文が書ける。意見をみんなの前で述べるということに 合 <table><tr><td>一</td><td>あ</td><td>み</td><td>せ</td><td>日</td><td>は</td><td>人</td><td>い</td><td>私</td><td>ト</td><td>オ</td><td>間</td><td>と</td><td>知</td><td>こ</td><td>数</td><td>ス</td><td>生</td></tr><tr><td>緒</td><td>そ</td><td>み</td><td>む</td><td>本</td><td>は</td><td>生</td><td>ま</td><td>は</td><td>も</td><td>シ</td><td>技</td><td>ん</td><td>ん</td><td>こ</td><td>点</td><td>で</td><td>撃</td></tr><tr><td>に</td><td>の</td><td>な</td><td>う</td><td>語</td><td>く</td><td>と</td><td>す</td><td>は</td><td>し</td><td>レ</td><td>の</td><td>は</td><td>こ</td><td>り</td><td>近</td><td>知</td><td>の</td></tr><tr><td>勉</td><td>目</td><td>な</td><td>で</td><td>ス</td><td>こ</td><td>い</td><td>は</td><td>私</td><td>て</td><td>モ</td><td>の</td><td>は</td><td>こ</td><td>り</td><td>く</td><td>強</td><td>の</td></tr><tr><td>ま</td><td>標</td><td>ん</td><td>勉</td><td>ジ</td><td>私</td><td>の</td><td>現</td><td>の</td><td>い</td><td>し</td><td>練習</td><td>な</td><td>な</td><td>が</td><td>く</td><td>し</td><td>の</td></tr><tr><td>し</td><td>は</td><td>を</td><td>し</td><td>が</td><td>は</td><td>の</td><td>象</td><td>當</td><td>ま</td><td>す</td><td>を</td><td>か</td><td>は</td><td>に</td><td>て</td><td>こ</td><td>の</td></tr><tr><td>ま</td><td>の</td><td>を</td><td>た</td><td>上</td><td>解</td><td>校</td><td>験</td><td>生</td><td>活</td><td>の</td><td>め</td><td>た</td><td>は</td><td>目</td><td>ま</td><td>し</td><td>一</td></tr><tr><td>う</td><td>こ</td><td>に</td><td>い</td><td>手</td><td>す</td><td>活</td><td>す</td><td>活</td><td>で</td><td>の</td><td>した</td><td>が</td><td>色</td><td>に</td><td>落</td><td>し</td><td>緒</td></tr><tr><td></td><td>み</td><td>目</td><td>思</td><td>に</td><td>る</td><td>を</td><td>の</td><td>合</td><td>コ</td><td>た</td><td>の</td><td>子</td><td>の</td><td>子</td><td>ゴ</td><td>モ</td><td>に</td></tr><tr><td></td><td>ん</td><td>標</td><td>い</td><td>き</td><td>よ</td><td>い</td><td>け</td><td>お</td><td>ン</td><td>ゴ</td><td>子</td><td>モ</td><td>子</td><td>ゴ</td><td>さ</td><td></td><td>日</td></tr><tr><td></td><td>さ</td><td>が</td><td></td><td>う</td><td>に</td><td>い</td><td>と</td><td>ン</td><td>ゴ</td><td>テ</td><td>テ</td><td>い</td><td>さ</td><td></td><td></td><td>こ</td><td>本</td></tr><tr><td></td><td>せ</td><td>こ</td><td></td><td>そ</td><td>し</td><td>思</td><td>い</td><td>イ</td><td>アル</td><td>た</td><td>こ</td><td>す</td><td></td><td></td><td></td><td>と</td><td>上</td></tr><tr><td></td><td>ん</td><td>思</td><td></td><td>度</td><td>こ</td><td>す</td><td>ま</td><td>し</td><td>バ</td><td>格</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あ</td><td>級</td></tr><tr><td></td><td>ら</td><td>い</td><td></td><td>も</td><td></td><td></td><td></td><td>て</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>と</td><td>ク</td></tr><tr><td></td><td>で</td><td>ま</td><td></td><td>も</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ラ</td></tr></table> (第 頁) 新聞切り抜きは、外国につながる生徒の日本語学習、試験という有無を言わせない関門、失敗から学んだ若者の「声」、前回の高校生Tさんの「声」から大学進学支援に対する意見が書かれた「天声人語」、悩んで読むか、読んで悩むかの若者向けの読書案内の記事という盛りだくさんな走り読みであった。ここで、取り上げられた漫画「上京ものがたり」の読書感想文を宿題とした。	一	あ	み	せ	日	は	人	い	私	ト	オ	間	と	知	こ	数	ス	生	緒	そ	み	む	本	は	生	ま	は	も	シ	技	ん	ん	こ	点	で	撃	に	の	な	う	語	く	と	す	は	し	レ	の	は	こ	り	近	知	の	勉	目	な	で	ス	こ	い	は	私	て	モ	の	は	こ	り	く	強	の	ま	標	ん	勉	ジ	私	の	現	の	い	し	練習	な	な	が	く	し	の	し	は	を	し	が	は	の	象	當	ま	す	を	か	は	に	て	こ	の	ま	の	を	た	上	解	校	験	生	活	の	め	た	は	目	ま	し	一	う	こ	に	い	手	す	活	す	活	で	の	した	が	色	に	落	し	緒		み	目	思	に	る	を	の	合	コ	た	の	子	の	子	ゴ	モ	に		ん	標	い	き	よ	い	け	お	ン	ゴ	子	モ	子	ゴ	さ		日		さ	が		う	に	い	と	ン	ゴ	テ	テ	い	さ			こ	本		せ	こ		そ	し	思	い	イ	アル	た	こ	す				と	上		ん	思		度	こ	す	ま	し	バ	格						あ	級		ら	い		も				て								と	ク		で	ま		も													ラ
一	あ	み	せ	日	は	人	い	私	ト	オ	間	と	知	こ	数	ス	生																																																																																																																																																																																																																																																														
緒	そ	み	む	本	は	生	ま	は	も	シ	技	ん	ん	こ	点	で	撃																																																																																																																																																																																																																																																														
に	の	な	う	語	く	と	す	は	し	レ	の	は	こ	り	近	知	の																																																																																																																																																																																																																																																														
勉	目	な	で	ス	こ	い	は	私	て	モ	の	は	こ	り	く	強	の																																																																																																																																																																																																																																																														
ま	標	ん	勉	ジ	私	の	現	の	い	し	練習	な	な	が	く	し	の																																																																																																																																																																																																																																																														
し	は	を	し	が	は	の	象	當	ま	す	を	か	は	に	て	こ	の																																																																																																																																																																																																																																																														
ま	の	を	た	上	解	校	験	生	活	の	め	た	は	目	ま	し	一																																																																																																																																																																																																																																																														
う	こ	に	い	手	す	活	す	活	で	の	した	が	色	に	落	し	緒																																																																																																																																																																																																																																																														
	み	目	思	に	る	を	の	合	コ	た	の	子	の	子	ゴ	モ	に																																																																																																																																																																																																																																																														
	ん	標	い	き	よ	い	け	お	ン	ゴ	子	モ	子	ゴ	さ		日																																																																																																																																																																																																																																																														
	さ	が		う	に	い	と	ン	ゴ	テ	テ	い	さ			こ	本																																																																																																																																																																																																																																																														
	せ	こ		そ	し	思	い	イ	アル	た	こ	す				と	上																																																																																																																																																																																																																																																														
	ん	思		度	こ	す	ま	し	バ	格						あ	級																																																																																																																																																																																																																																																														
	ら	い		も				て								と	ク																																																																																																																																																																																																																																																														
	で	ま		も													ラ																																																																																																																																																																																																																																																														

5 回分のセムラ新聞切り抜き意見文作成を振り返って

学習者の意見文作成のための共通な磁場を作り上げるために矢継ぎ早な質問項目に答えてさせたり、1年以上、おこなってきた意見文に焦点を当てた新聞切り抜き読解の積み重ねを基にした新聞切り抜きの走り読みを行なったりした。実施する前は、少し学習量が多すぎて学習者の荷が重いのではなかとを考えていたが、学習者は、自分の積み重ねた日本語語彙で、どしどし答える心地よさを覚えてくれて、支援者が彼たちからエネルギーをいただき、励まされた。

日本語を書きたいという学習者の周辺に枠を設定した矢継ぎ早の質問、学習者が一番関心のありそうなことの周辺に枠をはめた緩やかな多くの質問、余計なように見える日本の事情や課題、世界のニュースなど毎回の意見文作成の課題からはみ出しているような記事も挟み込みながら行くと学習者自身が毎回の学習内容の軽重を判断して、日本語語彙を増やしていることがわかった。

学習者のある程度自由に使える日常会話語から書きことばという枠組みの日本語語彙の獲得に移行していく準備としての書きことばの獲得＝新聞記事（意見文）を読むという作業は有効のように思える。

「何が書きことばか」、「どこから取り組めばいいのか」、という問題設定も重要と考えるが、学習者の興味・関心と支援者の得意分野を秤にかけながら、螺旋階段を登るよにした設問、一つの話題に二、三件の意見文の提示を心がげ、学習者の好みや意見の選択を保証するように新聞記事を取り上げて行うことで、学習者が自分の意見を他人と比較しながら持つことができるように思う。

今回、セムラ中上級クラスでは、初めて意見文作成をねらった学習を行なった。学習者の書きたい内容を構想し、意見文を完成させるためには、彼らの思いが、読者にうまく伝えられるための書きことばの獲得は、学習者と支援者の協働作業が必要のように思われる。ちょうど、それは、夏休みの宿題を親が手伝ったような段階があったように、学習者が、あまり苦手意識を持たないで、楽しく、書く自信を積み重ねながら、学習者を大きくて、深い文章世界に羽ばたかせるための準備期間を共有していたと思う。

今後は、新聞切り抜きを活用した意見文作成の指導実践を重ね、この方法の有効性を確かめ、学習者のそれ以外の文章作成につなげやすいように、この方法の精度を高めていきたい。